

資 料

目 次

第1節 上位計画	資- 1
第2節 前計画の達成状況	資- 6
第3節 他事例における減量施策	資- 7
第4節 ごみ発生量及び処理量の見込み	資-17
第5節 用語解説	資-57

第 1 節 上位計画

1-1 第四次熱海市総合計画

- 策定年月 平成 23 年 3 月
- 将来都市像 住むひとが誇りを 訪れるひとに感動を 誰もが輝く楽園都市 熱海
- 計画期間 平成 23 年度(2011 年度)～平成 32 年度(2020 年度)
- 目標人口 40,000 人(平成 32 年度)
- 創造と取り組む柱

1. 豊かな暮らしの創造

〔施策の柱〕 ○子どもたちが安心して豊かに育つことができる環境づくり

- 互いに支えあうまちづくりの推進
- 健康で豊かな暮らしの実現
- 安全・安心を意識した住みやすさの追求

2. 賑わいと癒しの創造

〔施策の柱〕 ○魅力ある湯治場としての復活

- 熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上
- 地域特性を生かした産業の振興

3. 人と自然が共生する社会の創造

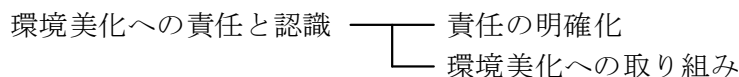
〔施策の柱〕 ○環境にやさしいまちづくり

- 自然を守り継承し、癒される空間の創出

○ 廃棄物処理

1. 環境美化への責任と認識

環境美化への責任と認識を持つために、責任の明確化と環境美化への取り組みを進めます。



①責任の明確化

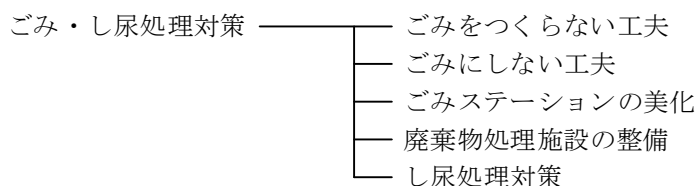
- ・警察、県等関係機関と協力し、引き続き不法投棄の取り締まりを実施することにより、廃棄物の適正な処理を図る。
- ・拡大生産者責任の考えに基づき過剰包装の自粛、再生資源の利用などの取り組みを促進する。
- ・空き缶の散乱防止のため、キャンペーンの実施や初島におけるデポジット制度の充実を図っていく。
- ・事業系ごみについては、自己搬入の徹底を図ると同時に、生ごみの再生利用などを行うことにより、減量に努めるよう要請する。

②環境美化への取り組み

- ・環境に対する市民・事業者への理解、協力を要請するとともに、市民一人ひとりの日常生活や事業所活動における環境美化意識の向上を図る。
- ・花によるまちづくりを推進し、ごみを捨てにくい美しいまちをつくる。
- ・たばこの吸殻や空き缶など、ごみの無いまちづくりを市民とともに進める。

2. ごみ・し尿処理対策

ごみ・し尿処理対策のために、ごみをつくらない工夫とごみにしない工夫、ごみステーションの美化、廃棄物処理施設の整備、し尿処理施設の広域的な整備の検討を進めます。



①ごみをつくらない工夫

- ・製造、販売業者に対して、包装の簡略化や容器の再利用、リサイクルが容易な製品への転換を引き続き要請する。
- ・販売業者の協力を得て、レジ袋の無料配布の廃止などマイバッグ運動の普及に努める。

②ごみにしない工夫

- ・ごみの再資源化を促進するために、市民の協力を得て、資源として再生する回収品目の更なる拡大、細分化に努める。
- ・ごみ減量化・リサイクルを促進するため、子ども会や町内会等が実施している廃品回収事業を引き続き支援し、集団回収の充実と拡大を図る。
- ・生ごみの自己処理を推進するため、生ごみ処理機器の普及を図り、利用してできた堆肥については市内の花壇や公園、学校等で積極的に使用するとともに、民間の協力を得て有効的な活用の推進に努める。
- ・ごみ焼却量の削減のため、ペットボトル・発泡トレーの再資源化を促進し、廃プラスチックのエネルギー化や再資源化について検討する。
- ・行政、企業が中心となって廃棄物の再資源化を目指す、地域でのゼロ・エミッションのしくみづくりを検討する。

③ごみステーションの美化

- ・ごみの排出状況や維持管理の好ましくないごみステーションの指導等、環境衛生に配慮した、きれいで清潔なごみステーションの美化に努める。
- ・きれいなまちづくりを推進するため、釣り客、海水浴客など観光客へのごみの持ち帰りを啓発する。
- ・効率的な収集体制ときれいで便利なごみステーションづくりを目指し、場所や収集時間の見直しを検討する。

④廃棄物処理施設の整備

- ・既存のごみ処理施設については、周辺環境の保全に努め、耐用年数の延長を図るために、効率的な管理運営を図る。
- ・焼却灰の資源化により最終処分場の延命化を図るとともに、新たな処分場の建設等の調査研究を行う。

⑤し尿処理対策

- ・し尿処理施設については、近隣自治体と協力して広域的な整備を検討する。

1-2 第二次熱海市環境基本計画

○ 策定年月 平成 24 年 3 月

○ 環境像 恵まれた自然に誇りを持ち、循環を基調とした心あたたまる環境にやさしいまち 熱海

○ ごみ関係

◆数値目標

1 人 1 日当たりのごみの排出量、平成 22 年(2010 年)度を基準として、平成 33 年(2021 年)度までに 10%削減を目指す。

	平成 22 年度	平成 33 年度 目標値
1 人 1 日当たりのごみの排出量	1,673 g / 人・日	1,506 g / 人・日

[市の取り組み]

①廃棄物の適正な処理の推進

- ・インターネット等の媒体を利用し、ごみの出し方や収集日程等が利用者に適切に理解できるようにします。
- ・きれいなまちづくりを推進するため、釣り客、海水浴客など観光客へのごみの持ち帰りを啓発します。
- ・効率的な収集体制ときれいで便利なおみステーションづくりを目指し、場所や収集時間の見直しを検討します。
- ・既存のごみ処理施設については、周辺環境の保全に努め、耐用年数の延長を図るために、効率的な管理運営を図ります。
- ・焼却灰の資源化により最終処分場の延命化を図るとともに、新たな処分場の建設等の調査研究を行います。
- ・既存のし尿処理施設については、老朽化が著しく、早急に新たな処理施設の建設等の調査研究を広域的に行います。
- ・将来の廃棄物処理施設の計画に向けて、エネルギーの有効活用に関する調査研究を行います。

②ごみの発生抑制とリサイクルの推進

- ・簡易包装された商品の選択等ごみ減量活動を促進し、環境に配慮した行動を心掛け

るよう啓発します。

- ・消費者に対し、グリーン購入を幅広く認知してもらうとともに、協力を得られるよう普及啓発に努めます。
- ・ごみを減らし、資源を大切に作る取り組みとして、事業者と連携を取りながらマイバッグ等の普及を図るためマイグッズ運動を促進します。
- ・リサイクルBOXの設置などにより、資源を有効に回収します。
- ・事業系ごみについては、自己搬入の徹底を図ると同時に、生ごみの再生利用などを行うことにより、減量に努めるよう要請します。
- ・製造、販売業者に対して、包装の簡略化や容器の再利用、リサイクルが容易な製品への転換を要請します。
- ・ごみの再資源化を促進するために、市民の協力を得て、資源として再生する回収品目の更なる拡大、細分化に努めます。
- ・ごみ減量化・リサイクルを促進するため、子ども会や町内会等が実施している資源ごみ集団回収事業を引き続き支援し、その充実と拡大を図ります。
- ・生ごみの自己処理を推進するため、生ごみ処理機器の普及を図り、利用してできた堆肥については市内の花壇や公園、学校等で積極的に使用するとともに、民間の協力を得て有効的な活用の推進に努めます。
- ・ごみ焼却量の削減のため、ペットボトル・発泡トレーの再資源化を促進し、廃プラスチックのエネルギー化や再資源化について検討します。
- ・行政、企業が中心となって廃棄物の再資源化を目指す、地域でのゼロ・エミッションのしくみづくりを検討します。
- ・生ごみの堆肥化などによる食の循環システムの構築を検討します。

〔市民の取り組み〕

- ・3R（Reduce・Reuse・Recycle）の実践しましょう。
- ・環境にやさしい商品（エコ商品、グリーンマーク商品）を購入しましょう。
- ・買い物袋等のマイグッズの利用に努めましょう。
- ・ごみの分別を徹底しましょう。
- ・資源ごみ集団回収事業などを通じて再資源化に努めましょう。
- ・生ごみの水きりを徹底しましょう。

〔事業者の取り組み〕

- ・生産活動における過剰包装の削減に努めましょう。
- ・事業活動に伴うごみの発生を抑制しましょう。
- ・顧客・事業者が一体となった廃棄物減量の意識改善を行い、双方のステータスとなるよう取り組みましょう。

〔観光客等の取り組み〕

- ・旅行用品などは、使い捨てのものではなく、長く使えるものを選んで使用しましょう。
- ・ごみは、持ち帰るか、資源として分別しリサイクルに協力しましょう。
- ・出来るだけ食べ残しをしないようにしましょう。

○ 生活排水関係

[市の取り組み]

③水質環境の保全

- ・下水道処理区域の拡大を目指すため、熱海処理区（熱海地区・南熱海地区・伊豆山地区）・泉処理区とも認可区域の面整備を推進します。
- ・下水道計画区域外での合併処理浄化槽の切り替えを図り、河川や海の汚濁防止に努めます。
- ・下水道が環境保全に果たす役割を広く周知するとともに、助成・貸付制度を活用し公共下水道への接続を促進します。
- ・生活排水による、汚染防止のため、洗剤量の適正使用など、各家庭での取り組みの啓発に努めます。

[市民の取り組み]

- ・生ごみや食用油を排水口に流さない等、家庭から出る雑排水の処理に気をつけましょう。
- ・公共下水道が整備されていない区域では、合併浄化槽の設置と維持管理を適正に行いましょう。
- ・公共下水道が整備されている地域では、速やかに接続しましょう。

[事業者の取り組み]

- ・大気汚染、水質汚濁等の環境保全に関する各種法令を遵守するとともに、より一層の汚濁の低減に向けて自主的な取り組みを実施しましょう。

第 2 節 前計画の達成状況

- ごみ排出量の目標：平成 24 年度のごみ総排出量を、平成 18 年度実績に比べ 10%削減
平成 34 年度のごみ総排出量を、平成 18 年度実績に比べ 15%削減

10%削減 目標

平成 18 年度のごみ総排出量：30,514 t/年 ⇒ 27,463 t/年

15%削減 目標

⇒ 25,937 t/年

表 2-1 ごみ総排出量の実績

(単位：t/年)

	H24	H25
ごみ総排出量	23,987	24,249

- リサイクルの目標：平成 24 年度における再生利用率を 20%に向上

平成 24 年度の再生利用率：6,003 t/年 / 23,987 t/年 = 25.0%

平成 24 年度の資源化量：6,003 t/年

表 2-2 再生利用率の実績

(単位：%)

	H24	H25
再生利用率	25.0	25.5

- 最終処分量の目標：平成 24 年度のごみ最終処分量を、平成 18 年度実績に比べ約 50%に削減
平成 34 年度のごみ最終処分量を、平成 18 年度実績に比べ約 30%に削減

50%削減 目標

平成 18 年度のごみ最終処分量：1,440 t/年 ⇒ 720 t/年

70%削減 目標

⇒ 432 t/年

表 2-3 最終処分量の実績

(単位：t/年)

	H24	H25
最終処分量	531	169

第3節 他事例における減量施策

現状分析において比較に用いた類似都市及び県内観光地のごみ減量に関する施策を以下に示します。

今後の大きな課題となるごみ排出抑制に向けては、各家庭、事業所における自主的な取り組みが不可欠となります。

表 3-1(1) 近隣観光地実施施策例（参考）

類似都市	施 策	
箱根町 (神奈川県)	広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌への掲載 ・ ホームページの活用 ・ 集会等を通じた広報啓発活動 ・ ごみ処理施設の見学会実施 ・ 資源とごみの分け方・出し方ガイド及びごみ収集カレンダーの配布
	ごみ減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品残渣等の減量化の推進 <ul style="list-style-type: none"> 生ごみ処理機器への補助制度を継続 排出時の水切りを徹底 食べ残しの出ない食事や食材を使い切ることに努め、生ごみの発生を抑制 ・ 容器包装廃棄物等の排出抑制 <ul style="list-style-type: none"> 買い物袋の持参、詰め替え商品の利用 過剰包装の自粛 ・ 再生品の使用促進、使い捨て商品の使用抑制 <ul style="list-style-type: none"> 再利用品、詰め替え商品の利用 ・ リサイクルへの協力 <ul style="list-style-type: none"> バザーやフリーマーケット等を開催 リサイクルショップや本町の不用品交換情報の活用 ・ 物品の長期使用、浪費抑制 <ul style="list-style-type: none"> 大切に使用することへの心掛け 無駄に消費しない生活スタイルへの心掛け ・ 事業系ごみを排出する事業者に対する減量化指導 <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物と一般廃棄物の区別を徹底
	資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容器包装廃棄物等の資源化の促進 ・ 分別収集への協力 <ul style="list-style-type: none"> 分別排出ルールに従い、適正にごみの分別 古紙、アルミ缶等の自主的な資源化 ごみステーションの清掃 カラス対策や小動物による散乱防止のための工夫

表 3-1(2) 近隣観光地実施施策例 (参考)

類似都市	施 策	
真鶴町 (神奈川県)	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページによる情報提供 ・ 生ごみ水切り推奨 ・ 町指定の可燃ゴミ袋の推奨 ・ ごみの分散排出の推奨 (月曜日に可燃ごみのが集中するため) ・ 不要入れ歯の寄付 ・ 無色、茶色びんの分別回収 ・ ビール瓶、一升瓶の店頭回収の推奨 ・ 飲料缶、食料缶の分別 ・ ごみ処理広域化の検討
湯河原町 (神奈川県)	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページによる情報提供 ・ 生ごみ処理容器補助 ・ 生ごみ水切り推奨 ・ 町指定の可燃ゴミ袋の推奨 ・ びん・カンステーションによる回収 ・ 無色、茶色びんの分別回収 ・ ビール瓶、一升瓶の店頭回収の推奨 ・ 飲料缶、食料缶の分別 ・ ごみ処理広域化の検討
三島市	広報啓発 ごみ減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌やホームページ等による啓発 ・ みしま生活展での啓発 ・ ごみ処理施設見学の積極的受け入れ ・ 環境教育教材・副読本の配布・活用 学校における環境学習や食育活動 ・ 出前講座等の推進 (仮称) 3R活動推進員の養成 ・ 各種キャンペーンを通じた啓発の推進 不法投棄クリーンキャンペーン、統一美化キャンペーン、不法 投棄撲滅キャンペーン ・ 環境衛生活動の推進 環境衛生週間ポスター・標語の募集 ・ 発生抑制の推進 買い物袋持参運動の推進 消費者団体の育成・消費者教育の充実 レジ袋使用量削減協力店の認定 ・ 再使用の推進 フリーマーケットの開催 不用品活用バンクの利用促進 リサイクル自転車の製作、活用 ・ 生ごみの減量化の推進 食材の使いきり、食べ残しなしの励行 水きりの徹底 減量化・堆肥化の推進 コンポスト・ぼかし容器の利用促進 家庭用生ごみ処理機購入費補助 学校給食施設等の生ごみ処理機の活用 生ごみ減量システムの調査・研究

表 3-1(4) 近隣観光地実施施策例 (参考)

類似都市	施 策	
伊豆市	<p data-bbox="363 309 475 338">広報啓発</p> <p data-bbox="363 723 475 752">ごみ減量</p> <p data-bbox="363 1249 451 1279">資源化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の発行やインターネットを利用した情報提供 ・ 市民参加（体験）型の各種のイベントの開催 ・ 廃棄物処理施設の見学会の実施 ・ 法整備動向、先進事例・技術などについての情報収集 ・ 補助制度や取組み状況についての情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ回収事業報奨金 環境保全活動支援 生ごみ処理機購入費補助金 EM ぼかしの無料配布 ・ 資源物の分別排出と再生品の使用についての情報提供 ・ 紙類など資源分別の指導 ・ ごみの有料化 ・ レジ袋対策・マイバッグ運動 ・ 家畜ふん尿や生ごみの堆肥化 ・ 過剰包装の削減 ・ 繰り返し使用できるもの（詰め替え商品など）の利用 ・ 食品を無駄計にしない計画的な購入や調理方法の検討 ・ 生ごみの資源化に向けた、ごみ減量装置などの利用 ・ 修理して使用する ・ フリーマーケットや不用品交換会、リサイクルショップなどの活用 ・ 集積所の状況確認や定期的な指導 ・ 事業系ごみのごみ量の把握 ・ 環境負荷の少ない製品の開発 ・ 電子化によるペーパーレス化や再使用 ・ 店頭回収など、民間の回収ルートの利用 ・ 資源物収集や集団回収 ・ 家電製品の販売店での資源化事業系ごみの資源化の推進 ・ 容器包装リサイクル法・家電リサイクル法・食品リサイクル法などのリサイクル法の適切な運用

表 3-2(1) 県内観光地実施施策例 (参考)

類似都市	施 策	
静岡市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、市広報媒体の活用 ・ イベント開催、環境教育の推進 ・ 啓発施設の活用 ・ 4R 推進委員会（自治会、商工会議所、市などで構成）市民、事業者、市の協働による 4R 推進施策の検討 ・ レジ袋削減協定締結の推進 ・ 廃棄物減量等推進員活動の推進 ・ 生ごみの減量（食べ残し削減、水切り、生ごみ処理機利用、新たな減量施策の調査、研究） ・ 家庭ごみ有料化 ・ 拡大生産者責任の徹底 ・ 多量排出事業者への指導 ・ 小規模事業所対策の徹底 ・ 有料事業者表彰制度の創設 ・ 事業系ごみ搬入検査の徹底 ・ 家庭ごみ集積所への不適正排出指導徹底 ・ 事業系ごみ処理手数料の見直し ・ 事業所用ごみ袋精度の見直し ・ 自主店頭回収の推進 ・ 雑紙の重点回収 ・ 集団回収の活用
浜松市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ減量推進員制度による啓発体制 ・ 環境教育の推進 ・ 広報誌、ホームページの充実 ・ 事業系ごみ処理手数料の改正 ・ 市低袋の統一 ・ 学校給食生ごみ堆肥化 ・ 粗大ごみ処理有料化 ・ 可燃、不燃ごみ処理有料化 ・ 学校、自治会等からの剪定枝等の資源化 ・ 紙ごみ拠点回収 ・ ごみ分別徹底

表 3-2(2) 県内観光地実施施策例 (参考)

類似都市	施 策	
沼津市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報紙によるリサイクル活動、助成制度、3R 最新情報の PR ・イベントなどによる 3R 情報啓発 ・ごみ出張講座 ・ごみの出し方便利帳による啓発 ・フリーマーケットフェスティバルの開催 ・ごみに関する環境教育の推進・充実 ・環境衛生自治推進協会・環境美化指導員による指導・啓発などを支援 ・生ごみの減量・資源化（農地還元）推進 ・すまいるしょっぷ（ごみ減量・資源化推進協力店）の普及拡大 ・市民による 3R ネットワーク構築支援 ・環境マネジメントシステム導入に対する支援 ・簡易包装の取組支援（レジ袋削減、マイバッグ持参） ・排出者責任の明確化・厳格化 ・粗大ごみの排出方法見直し（戸別収集、リユース推進） ・剪定枝の資源化 ・廃食用油の回収拠点拡大、資源化 ・事業者回収システムの推進（市による情報提供支援） ・事業者リサイクルネットワーク構築 ・焼却灰資源化 ・生ごみ資源化
富士宮市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報提供 ・段ボールコンポスト生ごみ処理機「だっくす食ん太くん NEO」活用推進 ・小型家電のリサイクル推進 ・剪定枝のリサイクル推進 ・衣類及び革類拠点回収推進 ・富士宮市廃食用油拠点回収事業推進 ・富士宮市古紙等リサイクル活動奨励金交付制度推進 ・古紙回収ステーション推進
伊東市	ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用生ごみ処理容器の普及拡大 ・家庭、事業所の生ごみの水切りの啓発 ・資源ごみ集団回収団体の育成 ・マイバック運動及び環境にやさしい買物キャンペーンの推進 ・ごみ処理有料化、処理手数料の改定 ・市低袋制導入 ・家庭、事業所のペットボトル及び容器包装プラスチックの分別収集の実施 ・資源ごみ（紙類）再資源化推進 ・店頭回収資源ごみ再資源化推進 ・事業系資源の再資源化啓発
焼津市	ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理容器、生ごみ処理機補助 ・分別回収拠点（ミニステーション）増設 ・廃プラスチックの回収 ・集団回収の活用 ・樹木剪定枝葉利用事業の推進

表 3-2(3) 県内観光地実施施策例 (参考)

類似都市	施 策	
御殿場市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量等市民懇話会の開催 ・高齢者等声かけごみ収集支援事業の実施 ・ごみ分別出前講座の開始 ・指定袋の変更 ・生ごみ処理容器等購入補助活用 ・マイバッグ持参、レジ袋有料化 ・拠点回収推進 ・小型家電リサイクル事業推進 ・集団回収の推進
袋井市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した情報掲載 ・商工会議所等を通じた情報提供 ・市民向けパンフレットの作成・配布 ・市民団体との連携促進 ・イベントの開催 ・学校教育との連携、地域での環境体験学習推進 ・生ごみ水切り奨励（広報、ホームページ、イベント等活用） ・生ごみ処理機、堆肥化容器購入補助による普及拡大 ・公共施設への生ごみ処理機の設置 ・マイバッグ運動の推進 ・先進ごみ減量施策の調査・研究 ・アースファミリー（家庭版 ISO）事業の推進 ・環境にやさしい事業所の認定制度推進 ・フリーマーケット、バザー支援（広報、ホームページ等に情報掲載） ・事業系ごみの適正処理（管理強化・指導） ・許可業者や多量輩出事業者への搬入計画・減量計画の提出指導 ・環境経営システム等推進（ISO14001、エコアクション 21 取得支援） ・ごみ処理有料化 ・分別収集の継続（自治会の協力による徹底） ・施設における資源回収継続拡大 ・集団回収支援 ・拠点回収（市役所古紙回収ボックス）の活用、拡大検討 ・新聞販売店との連携（古紙回収） ・剪定枝、廃食用油の資源化 ・店頭回収実施店のホームページへの掲載
下田市	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用（減量例の紹介、アイデア募集） ・ごみ料金の改定 ・生ごみ処理機購入補助活用 ・不用品バンクの活用 ・フリーマーケット、リサイクルショップの活用 ・過剰包装の抑制 ・使い捨て製品の抑制、ものの長期利用 ・拠点回収、集団回収の活用 ・草木の有効利用 ・学校給食等の残渣のリサイクル検討

表 3-2(4) 県内観光地実施施策例 (参考)

類似都市	施 策	
伊豆市	広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理施設見学会の実施 ・ 出前講座の開催 ・ 資源化・減量化の啓発・指導(情報提供) ・ 市民、事業者の役割分担・指導 ・ 環境教育の充実
ごみ減量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物減量等推進審議会の開催 ・ ごみの有料化 ・ 自家処理の推進（生ごみ処理機購入補助） ・ レジ袋対策、マイバッグ運動の推進 ・ フリーマーケットの開催 	
資源化		

表 3-3 類似都市実施施策例（参考）

類似都市	施 策	
留萌市 (北海道)	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・「美サイクル館だより」の発行 ・施設見学会の実施 ・水切りの励行 ・プラ製容器分別徹底
赤平市 (北海道)	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌に減量等取組の掲載 ・水切りの励行 ・マイバック、マイバスケットの使用、ノーレジ袋の推奨 ・リデュースの推進（必要以上の量は買わない、詰め替え製品の使用） ・集団回収の活用、拠点回収の活用
下呂市 (岐阜県)	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに3R実践方法の掲載 ・レジ袋有料化（マイバッグ持参） ・過剰包装、過剰サービスを断る、不要なものの購入抑制、使い捨て商品を買わない、家庭用生ごみ処理機の活用 ・集団回収の活用
中間市 (福岡県)	広報啓発 ごみ減量 資源化	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方ガイドブックにごみ減量の取組（4R）例を掲載 ・過剰包装抑制、マイバッグ持参、不用品を買わない ・食品の使いきり、水切り励行、詰め替え製品の使用、家庭での生ごみ資源化（生ごみ処理機の活用） ・修理して繰り返し使う、リサイクルショップを活用する、リターナブル製品を活用する。 ・分別徹底、拠点回収の活用、集団回収の活用
奄美市 (鹿児島県)	広報啓発 ごみ減量	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育・出前講座等による市民へのリサイクル思想の普及・啓発 ・環境を守る標語・ポスター展の開催 ・エコマネー事業の推進とリサイクルプラザの検討 ・マイバックキャンペーンの推進とレジ袋削減に向けた地域の取組み促進 ・奄美大島リサイクル促進協議会の活動支援と自動車リサイクル及び廃家電離島支援事業の推進 ・一般家庭ごみ処理手数料の有料化 ・不法投棄（家電、自動車、粗大ごみ等）防止パトロールの強化 ・クリーン監視員の配置継続 ・環境産業との連携推進 ・リサイクル商品購入の推進と家庭用生ごみ堆肥化容器助成の継続実施

第 4 節 ごみ発生量及び処理量の見込み

4-1 ごみ発生量の見込み

(1) 推計方法

推計手順は図 4-1 に示すとおりです。推計するものとしては、生活系ごみ原単位（1 人 1 日平均排出量）及び事業系ごみ量であり、原則として時系列分析*により行います。

生活系ごみ量は、生活系ごみ原単位の推計値に将来人口を乗じて求めます。この生活系ごみ量と事業系ごみ量との和をごみ発生量とします。さらに、ごみ発生（排出）抑制等の減量目標を設定し、この減量目標をごみ発生量から減じてごみ処理量とします。

ごみ量の考え方として、生活系ごみ量は、生活系ごみ量+拠点回収量+集団回収量とします。

なお、時系列分析において、採用する線形と現況値に若干の差異が発生するため、採用式による平成 25 年度値と、実際の平成 25 年度値との差異分を加減することにより補正を行います。

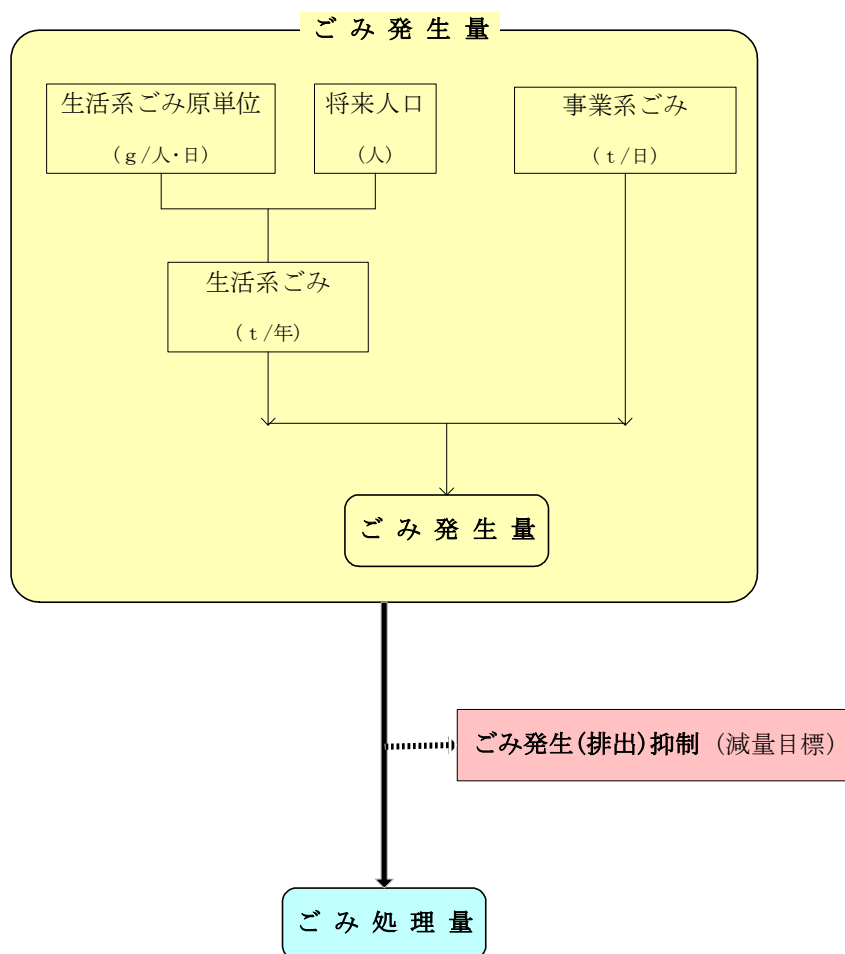


図 4-1 推計手順フロー

* : 時系列分析

時系列分析とは、時間の経過に従って変化する現象を、一定の規則性を持つ傾向線として近似的に一次関数、指数関数等によってモデル化し、これを延長することにより、将来の一定期間内における変化の状態を数量的に把握する予測手法であり、最もよく用いられています。

ここでは、表 4-1 に示す 7 つの線形により、時系列分析を行うこととします。

表 4-1 推計に用いる傾向線

名 称	推 定 式	式の傾向及び特徴
直線式	$y = a x + b$	最も基本となる式であり、傾きが一定で直線的に推移する式。直線的に増加または減少することから、長期の予定では不自然な傾向となってしまうこともあり、予測値の妥当性を判断する必要がある。
2次関数式	$y = a x + b x^2 + c$	増減の大きな傾向曲線を示す場合が多く、実績値によっては、傾向曲線の中に極値を含み、増減の逆転が生じる場合もある。従って、人口などの推計では整合がよくないが、ごみの推計では採用される場合もある。
対数式	$y = a \cdot \log(x) + b$	徐々に増減率が収束していくような推移となる推計式である。長期の予測でも実績値との乖離が少なく、比較的採用しやすい式である。
べき乗式	$y = x^a \cdot b + c$	指数式と同様に、徐々に増減率が大きくなっていく式であるが、推計式に特性上、実績値が減少傾向となっている場合には推計結果が得られないことがある。
指数式	$y = b x^a$	実績値にばらつきが少ない場合に良く適合する式であり、多くの場合において実績値の増減率が徐々に大きくなることから、長期的な予測では推計地の妥当性について判断する必要がある。
修正指数式	$y = K - b \cdot a^x$	特定値に向って収束していく傾向がある場合に当てはまるが、上・下限値である K が求められない場合発散してしまうため整合しない場合がある。
ロジスティック式	$y = K / (1 + b \exp(-a x))$	生物の個体数の変化を表すモデルとして考案された式であり、成長曲線とも呼ばれる。 一般的に、飽和値 K はその環境下で存在できる最大値を示す定数であり、y が増加するにつれ、増加率は抑制され、最終的には飽和値に収束していく。

備考) y : 計画年次における数値

x : 計画年次

a, b, c : 定数

K : 飽和数値

(2) 将来人口

① 定住者人口

定住者人口は、表 4-2 に示すとおりです。将来人口は、下水道計画値を踏襲します（表 4-4 参照）。

表 4-2 定住者人口の実績

		各年度末人口(単位：人)									
年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人	口	42,346	42,111	41,827	41,423	40,939	40,652	40,214	39,864	39,287	38,808

注) 数値は、住民基本台帳人口＋外国人登録人口です。

② 観光人口

宿泊客数、休憩客数は、表 4-3(1)及び表 4-3(2)に示すとおりです。それぞれ日平均の人員を算出し、時系列分析で推計します。その結果は、表 4-5(1)及び表 4-5(2)に示すとおりです。

表 4-3(1) 宿泊客数

年度		H16	H17	H18	H19	H20
宿泊客	人/年	2,896,461	2,914,484	2,939,341	2,899,205	2,914,931
	人/日	7,936	7,985	8,053	7,921	7,986
年度		H21	H22	H23	H24	H25
宿泊客	人/年	2,819,800	2,622,638	2,466,829	2,689,160	2,871,583
	人/日	7,725	7,185	6,740	7,368	7,867

注) 人/日は、365(366)日で除した数値です。

資料：観光経済課

表 4-3(2) 休憩客数

年度		H16	H17	H18	H19	H20
休憩客	人/年	224,565	227,238	213,171	127,106	122,762
	人/日	410	415	389	232	224
年度		H21	H22	H23	H24	H25
休憩客	人/年	101,852	106,358	94,808	139,671	165,144
	人/日	186	194	173	255	302

注) 人/日は、宿泊客9時間に対し休憩客6時間とし、2/3で積し365(366)日で除した数値です。

資料：観光経済課

※観光客の滞在時間

宿泊客：宿泊日の午後5時着、翌日の午前9時発とし、睡眠時間を7時間としてこれを除くと、9時間である。

休憩客：午前10時から午後4時まで滞在するものと考え、6時間である。

資料：し尿処理施設構造指針解説 -1988年版- (社)全国都市清掃会議

表 4-4 定住者人口の推計

【実績値】		予 測 式	
年度	人 口	区 分	
H16	42,346	直線	
H17	42,111	2次関数	
H18	41,827	対数	
H19	41,423	べき乗	
H20	40,939	指数	
H21	40,652	修正指数	
H22	40,214	ロジスティック	
H23	39,864		
H24	39,287		
H25	38,808		
		Y：予測値 X：年 度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	下水道計画
H26								38,500
H27								38,100
H28								37,420
H29								36,740
H30								36,060
H31								35,380
H32								34,700
H33								34,020
H34								33,340
H35								32,660
H36								31,980
H37								31,300
H38								30,620
H39								29,990
H40								29,360
H41								28,730

相 関								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

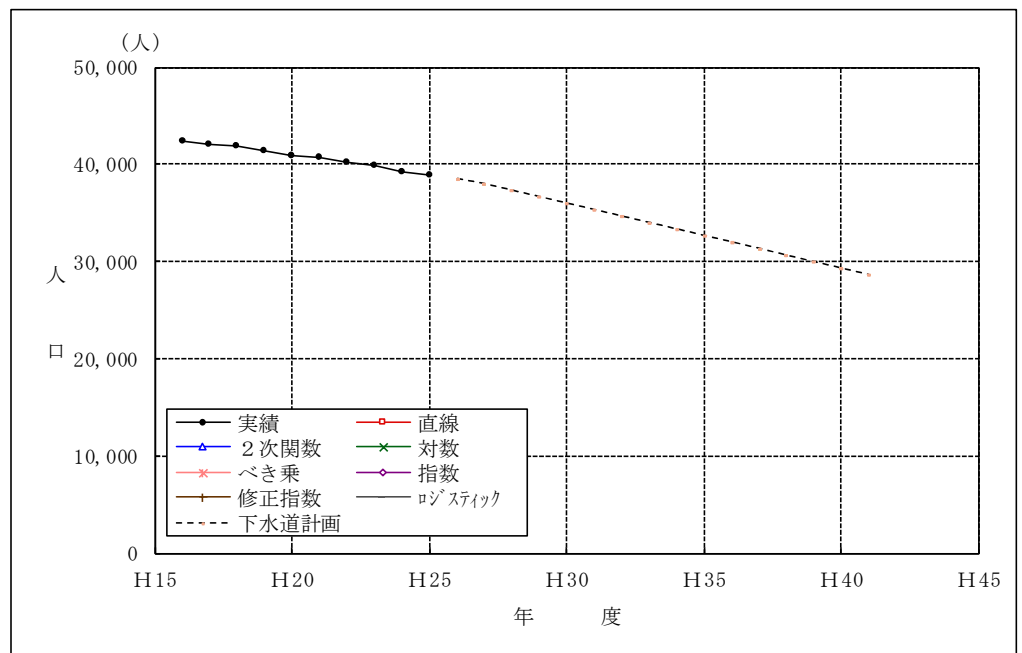


図 4-2 定住者人口の推計

表 4-5(1) 観光人口（宿泊客）の推計

【実績値】

年度	人 口
H16	7,936
H17	7,985
H18	8,053
H19	7,921
H20	7,986
H21	7,725
H22	7,185
H23	6,740
H24	7,368
H25	7,867

区 分	予 測 式
直線	$Y = -84.691 \times X + 9,412.8$
2次関数	$Y = -483.66 \times X + 9.7311 \times X^2 + 13,422$
対数	$Y = -1,731.2 \times \log(X) + 12,888$
べき乗	$Y = 15,325 \times X^{-0.23014}$
指数	$Y = 9,654.3 \times 0.98881^X$
修正指数	
ロジスティック	

Y：予測値 X：年 度

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H25値一定
H26	7,126	7,457	7,183	7,178	7,124			7,867
H27	7,041	7,509	7,120	7,118	7,044			7,867
H28	6,957	7,580	7,059	7,061	6,966			7,867
H29	6,872	7,670	7,000	7,006	6,888			7,867
H30	6,787	7,780	6,943	6,953	6,811			7,867
H31	6,703	7,909	6,888	6,902	6,734			7,867
H32	6,618	8,058	6,835	6,854	6,659			7,867
H33	6,533	8,226	6,783	6,807	6,584			7,867
H34	6,449	8,414	6,733	6,762	6,511			7,867
H35	6,364	8,621	6,684	6,718	6,438			7,867
H36	6,279	8,848	6,637	6,676	6,366			7,867
H37	6,195	9,094	6,591	6,635	6,295			7,867
H38	6,110	9,360	6,546	6,595	6,224			7,867
H39	6,025	9,645	6,502	6,557	6,154			7,867
H40	5,940	9,950	6,459	6,520	6,085			7,867
H41	5,856	10,274	6,418	6,484	6,017			7,867

相関	0.587868	0.612200	0.594336	0.586243	0.579726		
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

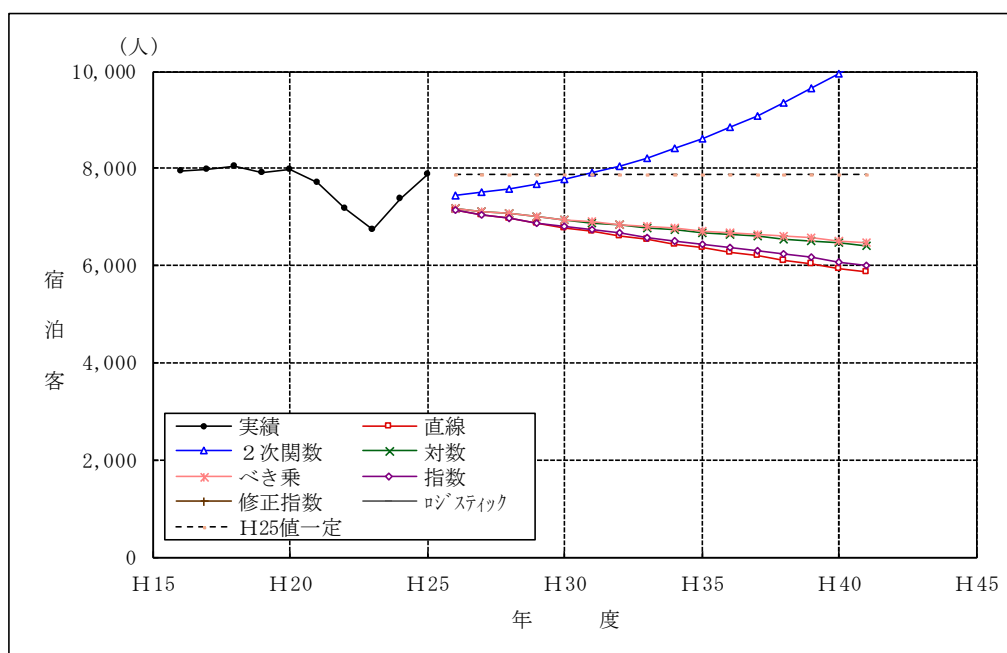


図 4-3(1) 観光人口（宿泊客）の推計

表 4-5(2) 観光人口（休憩客）の推計

【実績値】

年度	人 口
H16	410
H17	415
H18	389
H19	232
H20	224
H21	186
H22	194
H23	173
H24	255
H25	302

区 分	予 測 式
直線	$Y = -20.146 \times X + 690.98$
2次関数	$Y = -351.25 \times X + 8.0758 \times X^2 + 4,018.2$
対数	$Y = -431.42 \times \log(X) + 1,576.7$
べき乗	$Y = 19,357 \times X^{-1.4265}$
指数	$Y = 1,027.7 \times 0.93588^X$
修正指数	
ロジスティック	

Y：予測値 X：年 度

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H25値一定
H26	167	345	171	186	183			302
H27	147	422	155	176	172			302
H28	127	515	139	167	161			302
H29	107	624	124	159	150			302
H30	87	749	109	151	141			302
H31	66	890	95	144	132			302
H32	46	1,048	82	138	123			302
H33	26	1,221	68	132	115			302
H34	6	1,411	55	127	108			302
H35		1,617	43	121	101			302
H36		1,839	31	117	95			302
H37		2,078	19	112	89			302
H38		2,332	7	108	83			302
H39		2,603		104	78			302
H40		2,889		100	73			302
H41		3,192		97	68			302

相関	0.642150	0.914579	0.680140	0.638325	0.599593			
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

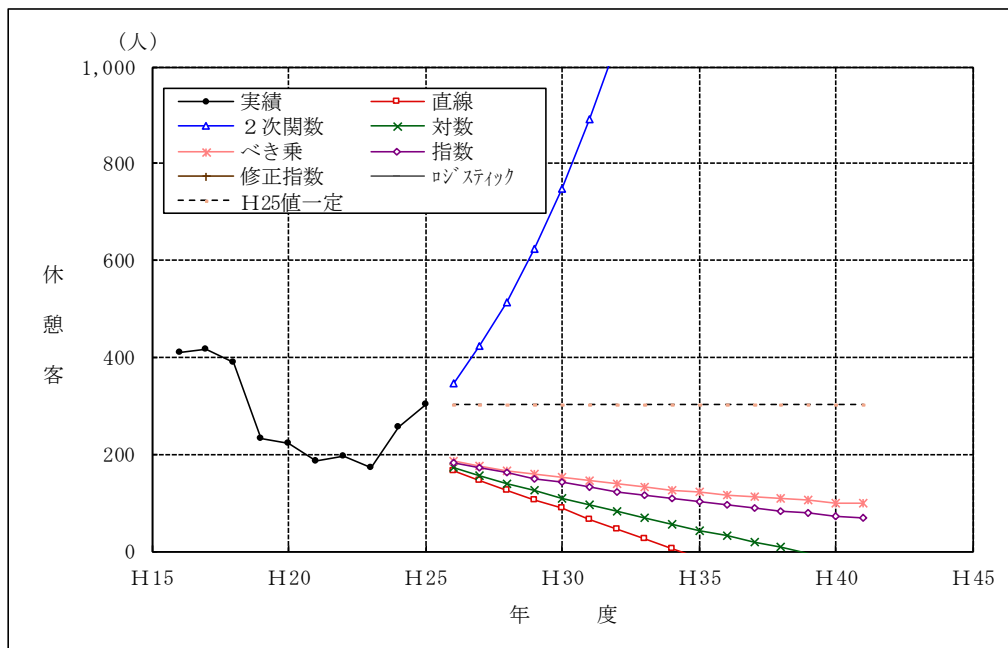


図 4-3(2) 観光人口（休憩客）の推計

(3) ごみ発生量の見込み

本項目は、今後ごみ処理において新たな施策を行わず、現行の施策を保持した場合のごみ発生量を推計するものです。

① 生活系ごみ発生量の見込み

ア. 生活系ごみ量推計方法

生活系ごみ原単位は、表 4-6 に示すとおりです。

推計区分については、可燃系ごみ、不燃系ごみ及び粗大ごみについて予測するものとします。

1. 「資源ごみ」から「ごみ」への移行及びその反対の現象が考えられることから、まず、可燃系ごみについては、可燃系資源ごみを含めた可燃系ごみ全体（可燃ごみ＋古紙・古布＋PETボトル＋トレー＋発泡スチロール＋その他＋初島区堆肥化量を時系列分析により予測します。
2. 可燃系資源ごみは、傾向が異なる可能性があることから、古紙、古布、PETボトル、トレー、発泡スチロール、初島区堆肥化量に分けて推計を行います。
3. 不燃系ごみについても、可燃系ごみと同様に、不燃系ごみ全体（埋立ごみ＋ガラス＋金属類(飲料缶含む)＋ビン＋乾電池＋蛍光管)を予測します。
4. 不燃系資源もごみ、傾向が異なる可能性があることから、金属類(飲料缶含む)、ビン、乾電池、蛍光管に分けて推計を行います。

表4-6 生活系ごみの実績

		年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H25比率		
人 口			42,346	42,111	41,827	41,423	40,939	40,652	40,214	39,864	39,287	38,808			
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	可燃ごみ	t/年	16,912	16,339	16,351	15,871	15,702	13,753	11,531	10,488	10,477	10,427			
	古紙・古布	資源ごみ	古紙	t/年	1,869	1,417	1,386	1,323	1,207	1,746	1,748	1,821	1,742	1,811 (75.46)	
			古布	t/年	17	17	18	25	25	23	24	25	21	18 (0.75)	
		集団回収	古紙	t/年	928	877	843	738	666	623	626	542	554	570 (23.75)	
			古布	t/年	6	4	3	2	3	3	5	2	1	1 (0.04)	
	計		t/年	2,820	2,315	2,250	2,088	1,901	2,395	2,403	2,390	2,318	2,400 (100.00)		
			g/人・日	182.4	150.6	147.4	137.7	127.2	161.4	163.7	163.8	161.6	169.4		
	PETボトル	拠点回収	PETボトル	t/年	30	36	41	47	45	53	65	59	51	44	
					g/人・日	1.9	2.3	2.7	3.1	3.0	3.6	4.4	4.0	3.6	3.1
	トレ	拠点回収	トレ	t/年	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	
					g/人・日	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.14	0.14	0.14	0.14
	発泡スチロール	拠点回収	発泡スチロール	t/年	6	4	4	4	3	4	3	1	4	2	
			g/人・日	0.39	0.26	0.26	0.26	0.20	0.27	0.20	0.07	0.28	0.14		
その他	集団回収	その他	t/年	19	16	18	17	0	0	0	0	0	0		
				g/人・日	1.23	1.04	1.18	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
⑥	初島区堆肥化量	t/年	48	48	49	53	51	43	47	44	44	41			
				g/人・日	3.1	3.1	3.2	3.5	3.4	2.9	3.2	3.0	3.1	2.9	
⑦	計	t/年	19,836	18,759	18,714	18,081	17,703	16,249	14,051	12,984	12,896	12,916			
				g/人・日	1,283.4	1,220.5	1,225.8	1,192.6	1,184.7	1,095.1	957.3	889.9	899.3	911.8	
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	埋立ごみーガラス・セトモノ類(H25.7～)	t/年	547	289	318	318	334	312	286	270	254	83			
	ガラス	資源ごみ	ガラス・セトモノ類	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	147		
			飲料缶	t/年	555	550	431	389	356	280	230	236	225	214 (50.36)	
		金属類	集団回収	金属類	t/年	484	425	408	383	383	211	189	201	192	182 (42.82)
						t/年	36	36	39	39	41	32	34	31	30
	計		t/年	1,075	1,011	878	811	780	523	453	468	447	425 (100.00)		
			g/人・日	69.6	65.8	57.5	53.5	52.2	35.2	30.9	32.1	31.2	30.0		
	ビン	資源ごみ	ビン	t/年	1,068	954	1,050	1,049	999	883	881	819	833	845 (99.88)	
			集団回収	t/年	10	8	6	6	6	4	4	3	2	1 (0.12)	
	計		t/年	1,078	962	1,056	1,055	1,005	887	885	822	835	846 (100.00)		
			g/人・日	69.7	62.6	69.2	69.6	67.3	59.8	60.3	56.3	58.2	59.7		
	⑩	乾電池	資源ごみ	乾電池	t/年	14	13	16	16	20	15	15	15	13	14
				g/人・日	0.91	0.85	1.05	1.06	1.34	1.01	1.02	1.03	0.91	0.99	
⑪	蛍光管	資源ごみ	蛍光管	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	7		
					g/人・日	—	—	—	—	—	—	—	—	0.49	
⑫	計	t/年	2,714	2,275	2,268	2,200	2,139	1,737	1,639	1,575	1,549	1,522			
				g/人・日	175.6	148.0	148.6	145.1	143.1	117.1	111.7	107.9	108.0	107.4	
粗大ごみ	t/年	330	373	398	405	544	316	317	304	324	324				
			g/人・日	21.4	24.3	26.1	26.7	36.4	21.3	21.6	20.8	22.6	22.9		

注) □は、推計に使用した数値
()内数値は、比率(%)を示します。

イ. 生活系ごみ発生量の見込み

時系列分析の結果は、表4-7～表4-18示すとおりです。

表 4-7 生活系可燃系ごみ〔全体〕原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H23	889.9
H24	899.3
H25	911.8

区 分	予 測 式
直線	$Y = 10.950 \times X + 637.53$
2次関数	
対数	$Y = 262.35 \times \log(X) + 66.718$
べき乗	$Y = 356.83 \times X^{-0.29125}$
指数	$Y = 672.48 \times 1.0122^X$
修正指数	
ロジスティック	

Y：予測値 X：年度

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H25値一定
H26	922.2		921.5	921.7	922.4			911.8
H27	933.2		931.4	931.9	933.7			911.8
H28	944.1		940.9	941.8	945.1			911.8
H29	955.1		950.1	951.5	956.7			911.8
H30	966.0		959.0	960.9	968.4			911.8
H31	977.0		967.6	970.1	980.2			911.8
H32	987.9		976.0	979.1	992.2			911.8
H33	998.9		984.0	988.0	1,004.4			911.8
H34	1,009.8		991.9	996.6	1,016.7			911.8
H35	1,020.8		999.5	1,005.0	1,029.1			911.8
H36	1,031.7		1,006.9	1,013.3	1,041.7			911.8
H37	1,042.7		1,014.0	1,021.4	1,054.4			911.8
H38	1,053.6		1,021.0	1,029.4	1,067.3			911.8
H39	1,064.6		1,027.9	1,037.2	1,080.4			911.8
H40	1,075.5		1,034.5	1,044.9	1,093.6			911.8
H41	1,086.5		1,041.0	1,052.4	1,107.0			911.8

相関	0.996677		0.995625	0.995939	0.996950			
----	----------	--	----------	----------	----------	--	--	--

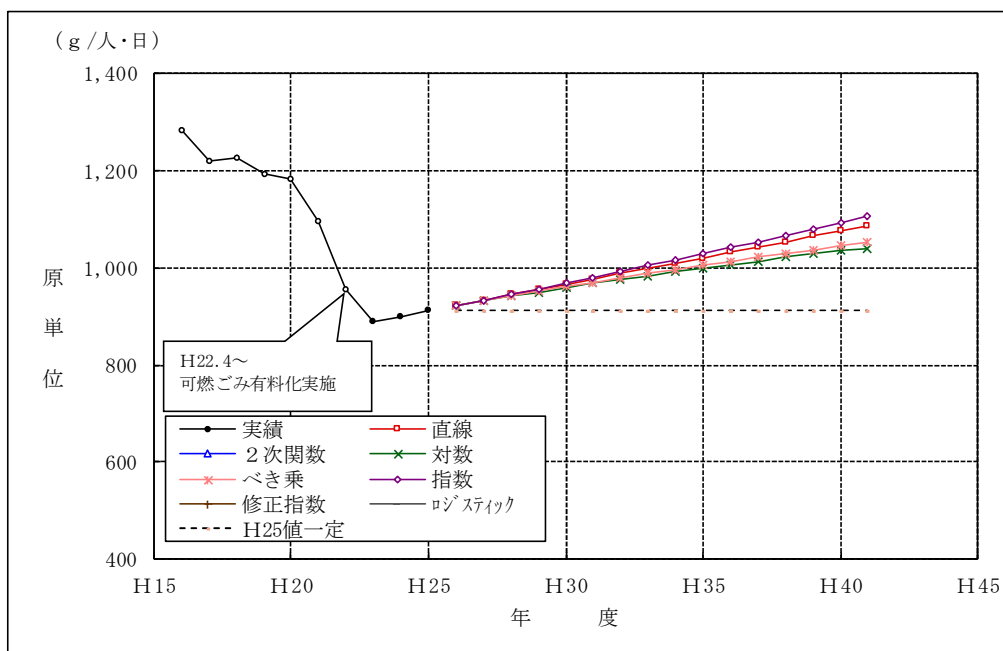


図 4-4 生活系可燃系ごみ〔全体〕原単位の推計

表 4-8 生活系可燃系資源ごみ（古紙・古布）原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H21	161.4
H22	163.7
H23	163.8
H24	161.6
H25	169.4

区分	予測式
直線	$Y = 1.3900 \times X + 132.01$
2次関数	$Y = -27.196 \times X + 0.62143 \times X^2 + 459.50$
対数	$Y = 31.467 \times \log(X) + 65.377$
べき乗	$Y = 90.444 \times X^{0.18983}$
指数	$Y = 135.20 \times 1.0084^X$
修正指数	
ロジスティック	
直線-2	$= [\text{直線}] + 2.6$

Y：予測値 X：年度

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	直線-2
H26	168.2	172.5	167.9	167.9	168.1			170.8
H27	169.5	178.2	169.1	169.1	169.5			172.1
H28	170.9	185.2	170.2	170.3	171.0			173.5
H29	172.3	193.4	171.3	171.4	172.4			174.9
H30	173.7	202.9	172.4	172.5	173.9			176.3
H31	175.1	213.6	173.4	173.6	175.3			177.7
H32	176.5	225.6	174.4	174.6	176.8			179.1
H33	177.9	238.8	175.4	175.6	178.3			180.5
H34	179.3	253.2	176.3	176.6	179.8			181.9
H35	180.7	268.9	177.3	177.6	181.3			183.3
H36	182.1	285.8	178.1	178.6	182.8			184.7
H37	183.4	304.0	179.0	179.5	184.4			186.0
H38	184.8	323.4	179.8	180.4	185.9			187.4
H39	186.2	344.1	180.7	181.3	187.5			188.8
H40	187.6	366.0	181.5	182.2	189.1			190.2
H41	189.0	389.1	182.2	183.0	190.7			191.6

相関	0.679806	0.769059	0.670763	0.669648	0.678560		
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

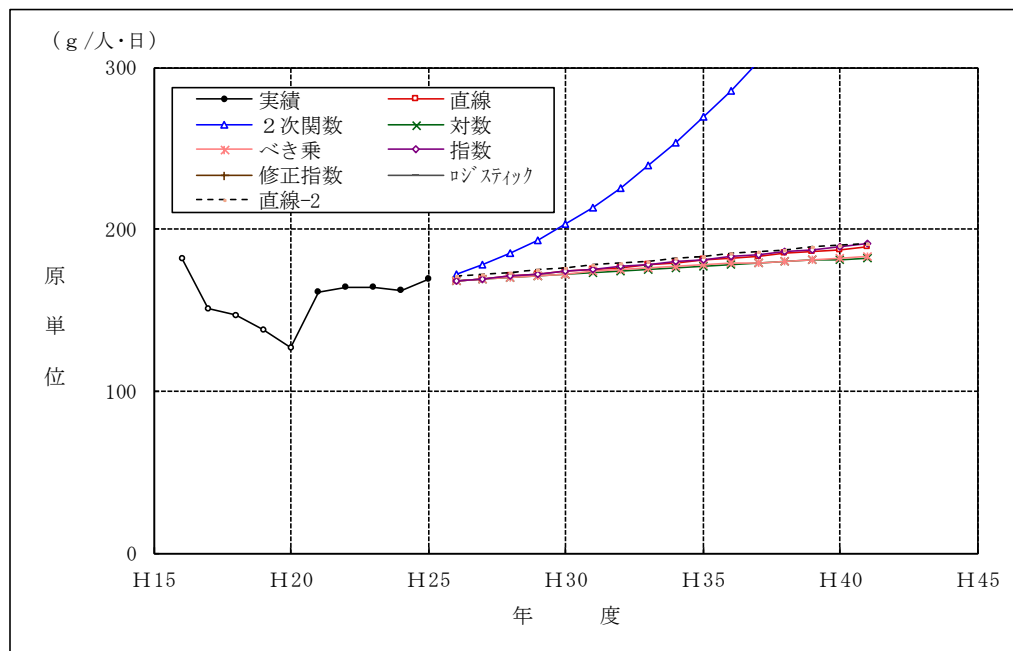


図 4-5 生活系可燃系資源ごみ（古紙・古布）原単位の推計

表 4-9 生活系可燃系資源ごみ（PETボトル）原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H22	4.4
H23	4.0
H24	3.6
H25	3.1

区分	予測式
直線	$Y = -0.43000 \times X + 13.880$
2次関数	$Y = 0.74500 \times X - 0.02500 \times X^2 + 0.10500$
対数	$Y = -10.079 \times \log(X) + 35.583$
べき乗	$Y = 19,193 \times X^{-2.7068}$
指数	$Y = 56.633 \times 0.89083^X$
修正指数	$Y = 7.3429 - 0.20555 \times 1.1287^X$
ロジスティック	$Y = 5.3548 / (1 + 0.000033812 \times \exp(-0.39927 \times X))$

Y：予測値 X：年度

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H25値一定
H26	2.7	2.6	2.7	2.8	2.8	2.6	2.6	3.1
H27	2.3	2.0	2.4	2.6	2.5	1.9	2.0	3.1
H28	1.8	1.4	2.0	2.3	2.2	1.2	1.6	3.1
H29	1.4	0.7	1.6	2.1	2.0	0.5	1.2	3.1
H30	1.0		1.3	1.9	1.8		0.8	3.1
H31	0.5		1.0	1.8	1.6		0.6	3.1
H32	0.1		0.7	1.6	1.4		0.4	3.1
H33			0.3	1.5	1.2		0.3	3.1
H34				1.4	1.1		0.2	3.1
H35				1.3	1.0		0.1	3.1
H36				1.2	0.9		0.1	3.1
H37				1.1	0.8		0.1	3.1
H38				1.0	0.7			3.1
H39				0.9	0.6			3.1
H40				0.9	0.6			3.1
H41				0.8	0.5			3.1

相関	0.998381	0.999730	0.997220	0.991961	0.994116	0.999748	0.999252
----	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------

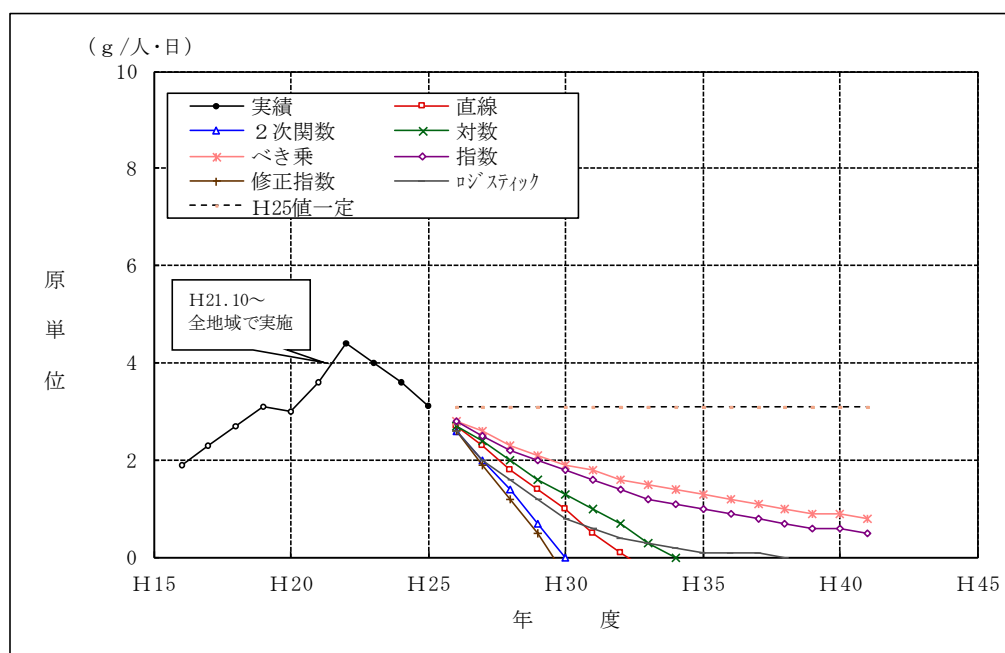


図 4-6 生活系可燃系資源ごみ（PETボトル）原単位の推計

表 4-10 生活系可燃系資源ごみ（トレー）原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H22	0.14
H23	0.14
H24	0.14
H25	0.14

区 分	予 測 式
直線	
2次関数	
対数	
べき乗	
指数	
修正指数	
ロジスティック	
Y：予測値 X：年 度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H22～H25平均値
H26								0.14
H27								0.14
H28								0.14
H29								0.14
H30								0.14
H31								0.14
H32								0.14
H33								0.14
H34								0.14
H35								0.14
H36								0.14
H37								0.14
H38								0.14
H39								0.14
H40								0.14
H41								0.14

相 関								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

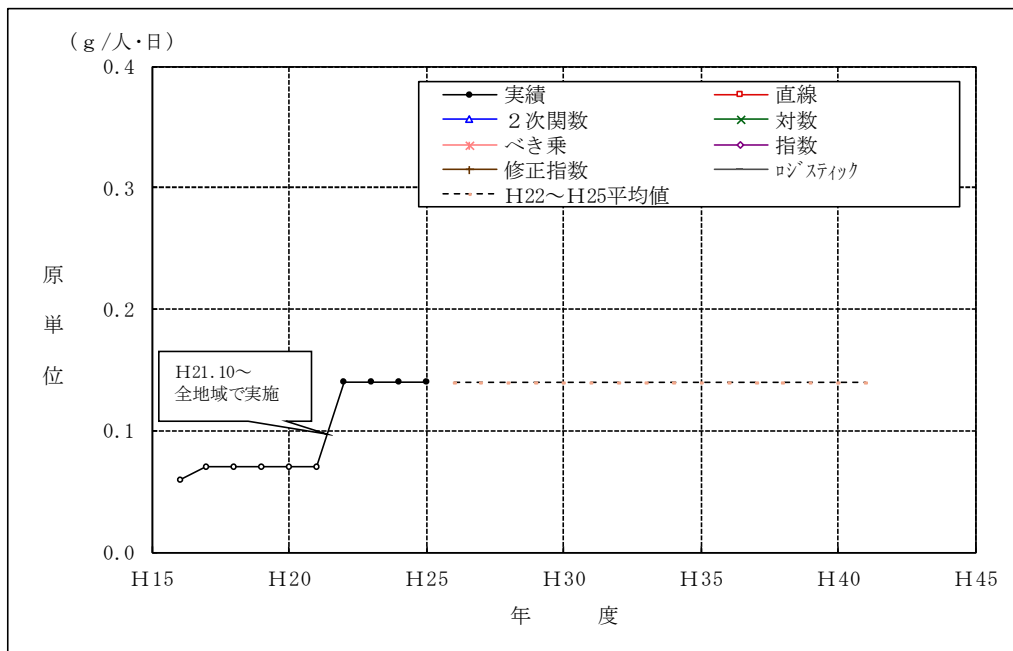


図 4-7 生活系可燃系資源ごみ（トレー）原単位の推計

表 4-11 生活系可燃系資源ごみ（発泡スチロール）原単位の推計

【実績値】		【推計値】	
年度	原単位	区分	予測式
H17	0.26	直線	$Y = -0.013333 \times X + 0.49556$
H18	0.26	2次関数	$Y = -0.019697 \times X + 0.00015151 \times X^2 + 0.56136$
H19	0.26	対数	$Y = -0.27682 \times \log(X) + 1.0562$
H20	0.20	べき乗	$Y = 33.903 \times X^{-1.6896}$
H21	0.27	指数	$Y = 1.1050 \times 0.92191^X$
H22	0.20	修正指数	
H23	0.07	ロジスティック	
H24	0.28		
H25	0.14		

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H17~H25平均
H26	0.15	0.15	0.15	0.14	0.13			0.22
H27	0.14	0.14	0.14	0.13	0.12			0.22
H28	0.12	0.13	0.13	0.12	0.11			0.22
H29	0.11	0.12	0.12	0.11	0.10			0.22
H30	0.10	0.11	0.11	0.11	0.10			0.22
H31	0.08	0.10	0.11	0.10	0.09			0.22
H32	0.07	0.09	0.10	0.10	0.08			0.22
H33	0.06	0.08	0.09	0.09	0.08			0.22
H34	0.04	0.07	0.08	0.09	0.07			0.22
H35	0.03	0.06	0.07	0.08	0.06			0.22
H36	0.02	0.05	0.06	0.08	0.06			0.22
H37		0.04	0.06	0.08	0.05			0.22
H38		0.03	0.05	0.07	0.05			0.22
H39		0.02	0.04	0.07	0.05			0.22
H40		0.02	0.04	0.07	0.04			0.22
H41		0.01	0.03	0.06	0.04			0.22

相関	0.513694	0.513864	0.513242	0.491940	0.491907		
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

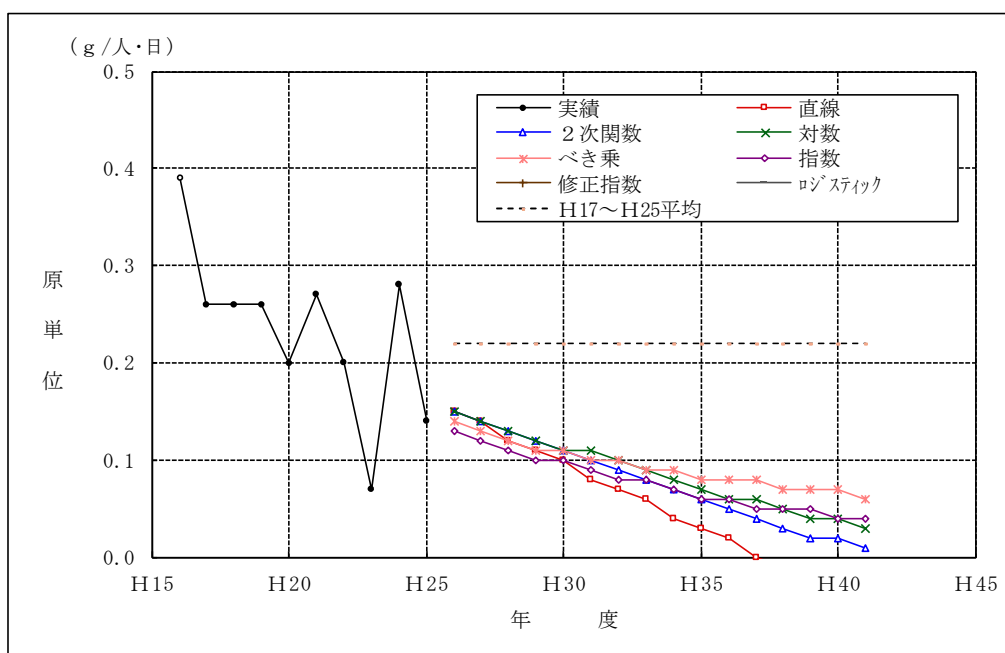


図 4-8 生活系可燃系資源ごみ（発泡スチロール）原単位の推計

表 4-12 生活系可燃系資源ごみ（初島区堆肥化量）原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H16	3.1
H17	3.1
H18	3.2
H19	3.5
H20	3.4
H21	2.9
H22	3.2
H23	3.0
H24	3.1
H25	2.9

区分	予測式
直線	$Y = -0.025455 \times X + 3.6618$
2次関数	$Y = 0.45599 \times X - 0.011742 \times X^2 - 1.1761$
対数	$Y = -0.47454 \times \log(X) + 4.5686$
べき乗	$Y = 4.9698 \times X^{-0.15309}$
指数	$Y = 3.7074 \times 0.99185^X$
修正指数	
ロジスティック	
べき乗-2	$= [\text{べき乗}] - 0.1$

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	べき乗-2
H26	3.0	2.7	3.0	3.0	3.0			2.9
H27	3.0	2.6	3.0	3.0	3.0			2.9
H28	2.9	2.4	3.0	3.0	2.9			2.9
H29	2.9	2.2	3.0	3.0	2.9			2.9
H30	2.9	1.9	3.0	3.0	2.9			2.9
H31	2.9	1.7	2.9	2.9	2.9			2.8
H32	2.8	1.4	2.9	2.9	2.9			2.8
H33	2.8	1.1	2.9	2.9	2.8			2.8
H34	2.8	0.8	2.9	2.9	2.8			2.8
H35	2.8	0.4	2.9	2.9	2.8			2.8
H36	2.7		2.9	2.9	2.8			2.8
H37	2.7		2.9	2.9	2.7			2.8
H38	2.7		2.8	2.8	2.7			2.7
H39	2.7		2.8	2.8	2.7			2.7
H40	2.6		2.8	2.8	2.7			2.7
H41	2.6		2.8	2.8	2.7			2.7

相関	0.394197	0.605828	0.363464	0.372897	0.403188		
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

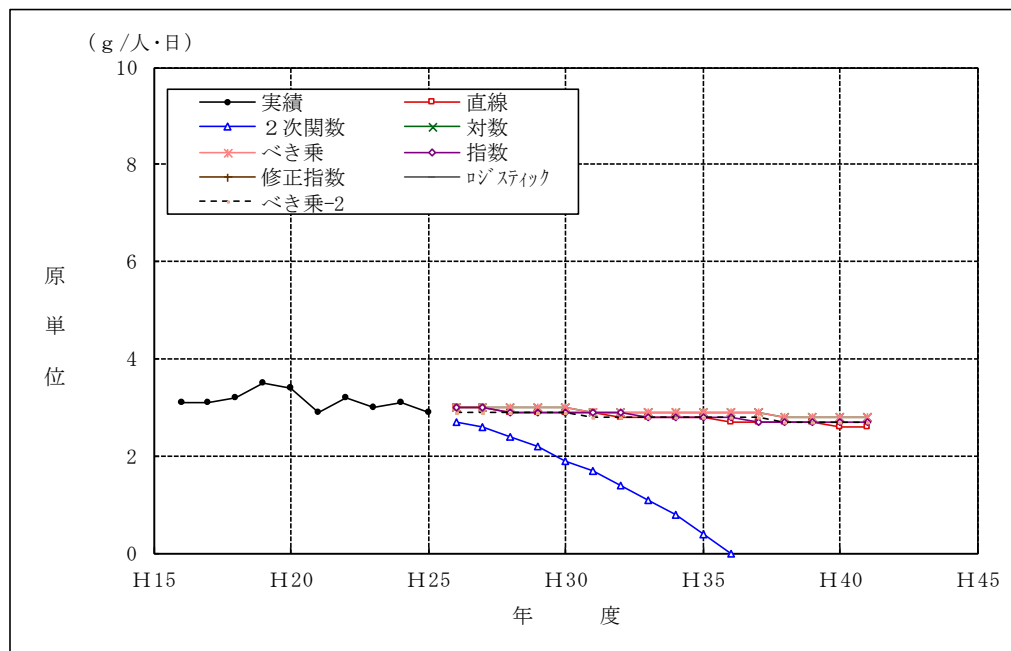


図 4-9 生活系可燃系資源ごみ（初島区堆肥化量）原単位の推計

表 4-13 生活系不燃系ごみ〔全体〕原単位の推計

【実績値】		【推計値】	
年度	原単位	区分	予測式
H23	107.9	直線	$Y = -0.20000 \times X + 112.60$
H24	108.0	2次関数	
H25	107.5	対数	$Y = -4.7465 \times \log(X) + 122.88$
		べき乗	$Y = 124.00 \times X^{-0.044072}$
		指数	$Y = 112.71 \times 0.99814^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		べき乗-2	$= [\text{べき乗}] - 0.1$
		Y：予測値 X：年度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	べき乗-2
H26	107.4		107.4	107.4	107.4			107.3
H27	107.2		107.2	107.2	107.2			107.1
H28	107.0		107.1	107.1	107.0			107.0
H29	106.8		106.9	106.9	106.8			106.8
H30	106.6		106.7	106.7	106.6			106.6
H31	106.4		106.6	106.6	106.4			106.5
H32	106.2		106.4	106.4	106.2			106.3
H33	106.0		106.3	106.3	106.0			106.2
H34	105.8		106.1	106.2	105.8			106.1
H35	105.6		106.0	106.0	105.6			105.9
H36	105.4		105.9	105.9	105.4			105.8
H37	105.2		105.7	105.8	105.2			105.7
H38	105.0		105.6	105.6	105.0			105.5
H39	104.8		105.5	105.5	104.8			105.4
H40	104.6		105.4	105.4	104.6			105.3
H41	104.4		105.3	105.3	104.4			105.2
相関	0.755929		0.747998	0.748252	0.756179			

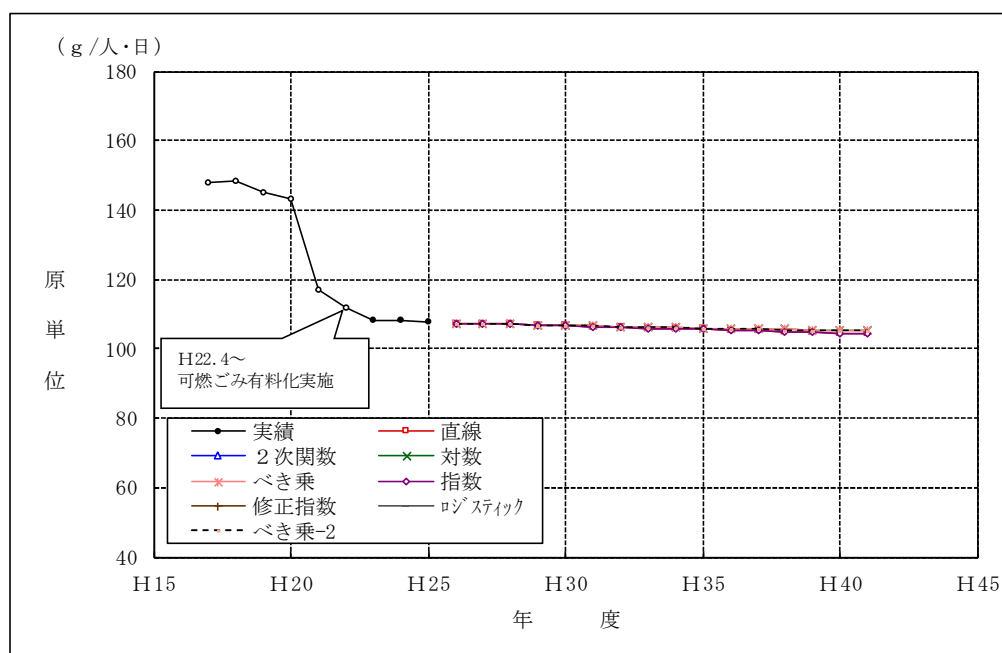


図 4-10 生活系不燃系ごみ〔全体〕原単位の推計

表 4-14 生活系不燃系資源ごみ（金属類(飲料缶含む)）原単位の推計

【実績値】		予 測 式	
年度	原単位	区 分	予 測 式
H21	35.2	直線	$Y = -0.99000 \times X + 54.670$
H22	30.9	2次関数	$Y = -15.119 \times X + 0.30714 \times X^2 + 216.53$
H23	32.1	対数	$Y = -22.931 \times \log(X) + 103.76$
H24	31.2	べき乗	$Y = 287.62 \times X^{-0.70223}$
H25	30.1	指数	$Y = 64.001 \times 0.97012^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		べき乗-2	$= [\text{べき乗}] + 0.1$
		Y：予測値 X：年 度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	べき乗-2
H26	28.9	31.1	29.0	29.2	29.1			29.3
H27	27.9	32.2	28.2	28.4	28.2			28.5
H28	27.0	34.0	27.3	27.7	27.4			27.8
H29	26.0	36.4	26.5	27.0	26.6			27.1
H30	25.0	39.4	25.8	26.4	25.8			26.5
H31	24.0	43.0	25.0	25.8	25.0			25.9
H32	23.0	47.3	24.3	25.2	24.2			25.3
H33	22.0	52.1	23.6	24.7	23.5			24.8
H34	21.0	57.6	22.9	24.2	22.8			24.3
H35	20.0	63.6	22.2	23.7	22.1			23.8
H36	19.0	70.3	21.6	23.2	21.5			23.3
H37	18.0	77.6	21.0	22.8	20.8			22.9
H38	17.1	85.5	20.3	22.4	20.2			22.5
H39	16.1	94.1	19.7	22.0	19.6			22.1
H40	15.1	103.2	19.2	21.6	19.0			21.7
H41	14.1	113.0	18.6	21.2	18.4			21.3
相関	0.791114	0.842733	0.798685	0.801079	0.794020			

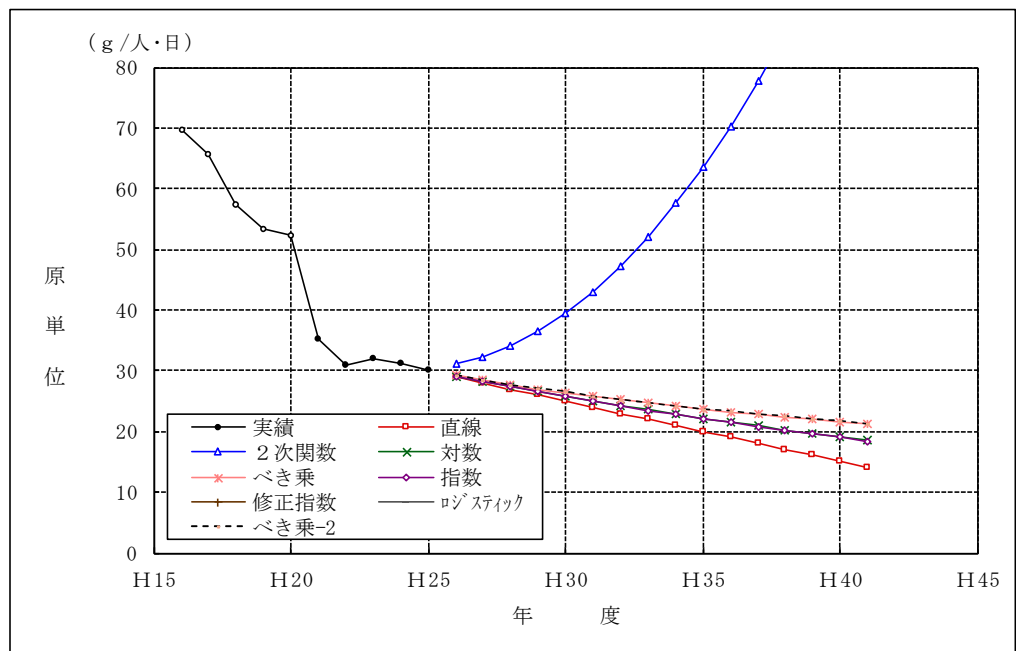


図 4-11 生活系不燃系資源ごみ（金属類(飲料缶含む)）原単位の推計

表 4-15 生活系不燃系資源ごみ（ビン）原単位の推計

【実績値】		予 測 式	
年度	原単位	区 分	予 測 式
H21	59.8	直線	$Y = -0.23000 \times X + 64.150$
H22	60.3	2次関数	$Y = -26.187 \times X + 0.56429 \times X^2 + 361.53$
H23	56.3	対数	$Y = -5.6624 \times \log(X) + 76.604$
H24	58.2	べき乗	$Y = 79.406 \times X^{-0.095649}$
H25	59.7	指数	$Y = 64.333 \times 0.99613^X$
		修正指数	
		ロジスティック	
		べき乗-2	$= [\text{べき乗}] + 1.3$
		Y：予測値 X：年度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	べき乗-2
H26	58.2	62.1	58.2	58.1	58.2			59.4
H27	57.9	65.8	57.9	57.9	57.9			59.2
H28	57.7	70.7	57.7	57.7	57.7			59.0
H29	57.5	76.7	57.5	57.5	57.5			58.8
H30	57.3	83.8	57.3	57.4	57.3			58.7
H31	57.0	92.0	57.2	57.2	57.0			58.5
H32	56.8	101.4	57.0	57.0	56.8			58.3
H33	56.6	111.9	56.8	56.8	56.6			58.1
H34	56.3	123.5	56.6	56.7	56.4			58.0
H35	56.1	136.2	56.5	56.5	56.2			57.8
H36	55.9	150.1	56.3	56.4	55.9			57.7
H37	55.6	165.1	56.2	56.2	55.7			57.5
H38	55.4	181.2	56.0	56.1	55.5			57.4
H39	55.2	198.5	55.9	55.9	55.3			57.2
H40	55.0	216.9	55.7	55.8	55.1			57.1
H41	54.7	236.4	55.6	55.7	54.9			57.0

相関	0.222850	0.684223	0.239132	0.235267	0.218926			
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

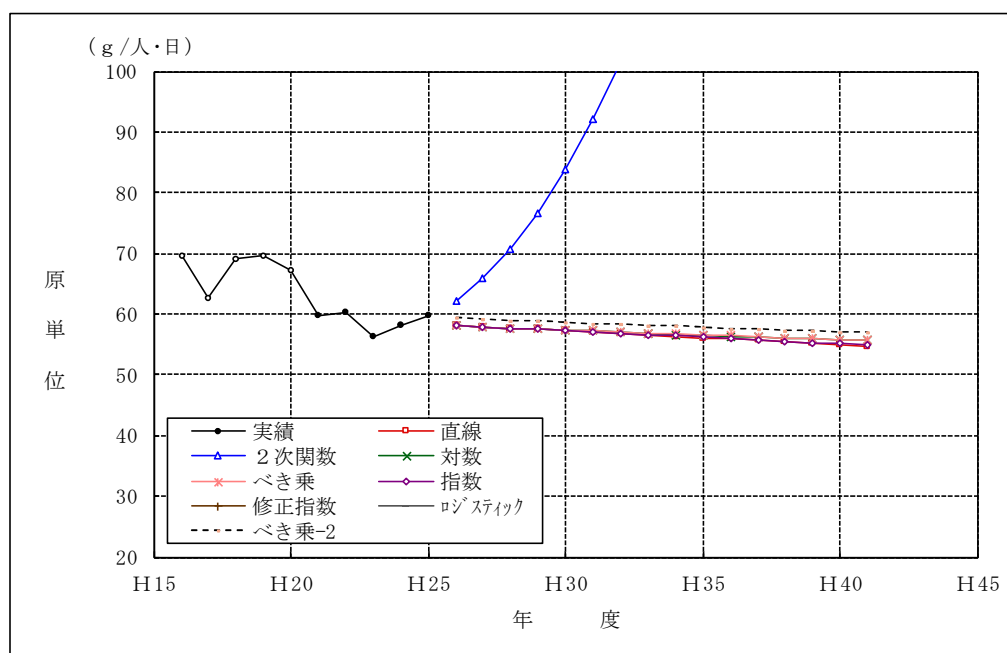


図 4-12 生活系不燃系資源ごみ（ビン）原単位の推計

表 4-16 生活系不燃系資源ごみ（乾電池）原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H16	0.91
H17	0.85
H18	1.05
H19	1.06
H20	1.34
H21	1.01
H22	1.02
H23	1.03
H24	0.91
H25	0.99

区分	予測式
直線	$Y = -0.0035758 \times X + 0.94370$
2次関数	$Y = 0.43842 \times X - 0.010607 \times X^2 + 3.42600$
対数	$Y = 0.10685 \times \log(X) + 0.69535$
べき乗	$Y = 0.69594 \times X^{-0.12366}$
指数	$Y = 0.92096 \times 1.0045^X$
修正指数	
ロジスティック	
べき乗-2	$= [\text{べき乗}] - 0.05$

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	べき乗-2
H26	1.04	0.80	1.04	1.04	1.04			0.99
H27	1.04	0.68	1.05	1.05	1.04			1.00
H28	1.04	0.53	1.05	1.05	1.04			1.00
H29	1.05	0.37	1.06	1.06	1.05			1.01
H30	1.05	0.18	1.06	1.06	1.05			1.01
H31	1.05		1.06	1.06	1.06			1.01
H32	1.06		1.07	1.07	1.06			1.02
H33	1.06		1.07	1.07	1.07			1.02
H34	1.07		1.07	1.08	1.07			1.03
H35	1.07		1.08	1.08	1.08			1.03
H36	1.07		1.08	1.08	1.08			1.03
H37	1.08		1.08	1.09	1.09			1.04
H38	1.08		1.08	1.09	1.09			1.04
H39	1.08		1.09	1.09	1.10			1.04
H40	1.09		1.09	1.10	1.10			1.05
H41	1.09		1.09	1.10	1.11			1.05

相関	0.081448	0.616569	0.120370	0.150560	0.110630		
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--

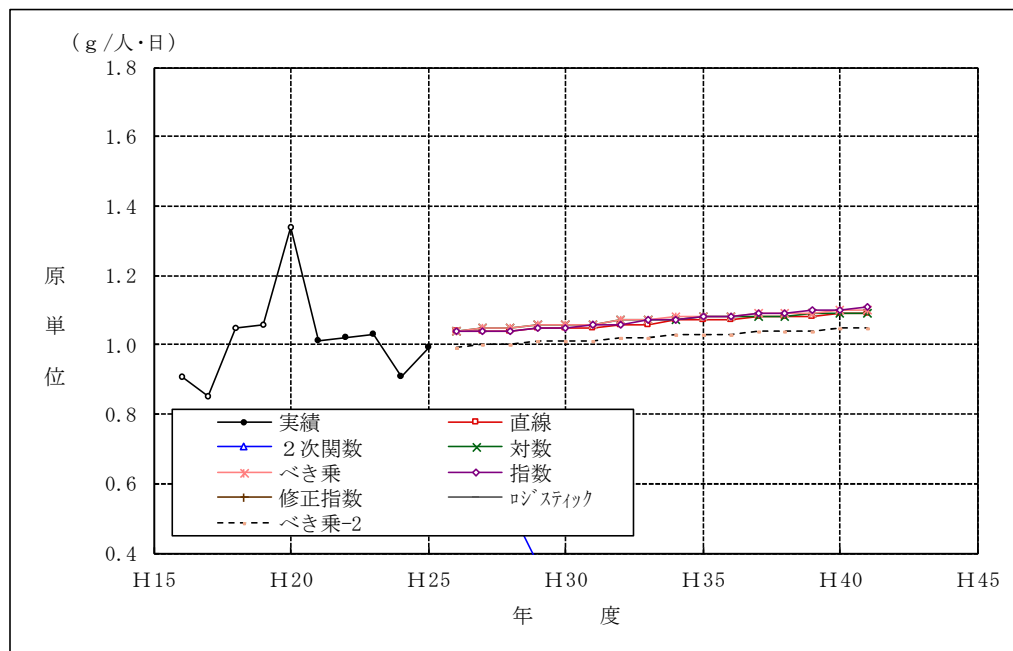


図 4-13 生活系不燃系資源ごみ（乾電池）原単位の推計

表 4-17 生活系不燃系資源ごみ（蛍光管）原単位の推計

【実績値】

年度	原単位
H25	0.49

区 分	予 測 式
直線	
2次関数	
対数	
べき乗	
指数	
修正指数	
ロジスティック	
Y：予測値 X：年 度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	H25値一定
H26								0.49
H27								0.49
H28								0.49
H29								0.49
H30								0.49
H31								0.49
H32								0.49
H33								0.49
H34								0.49
H35								0.49
H36								0.49
H37								0.49
H38								0.49
H39								0.49
H40								0.49
H41								0.49

相 関

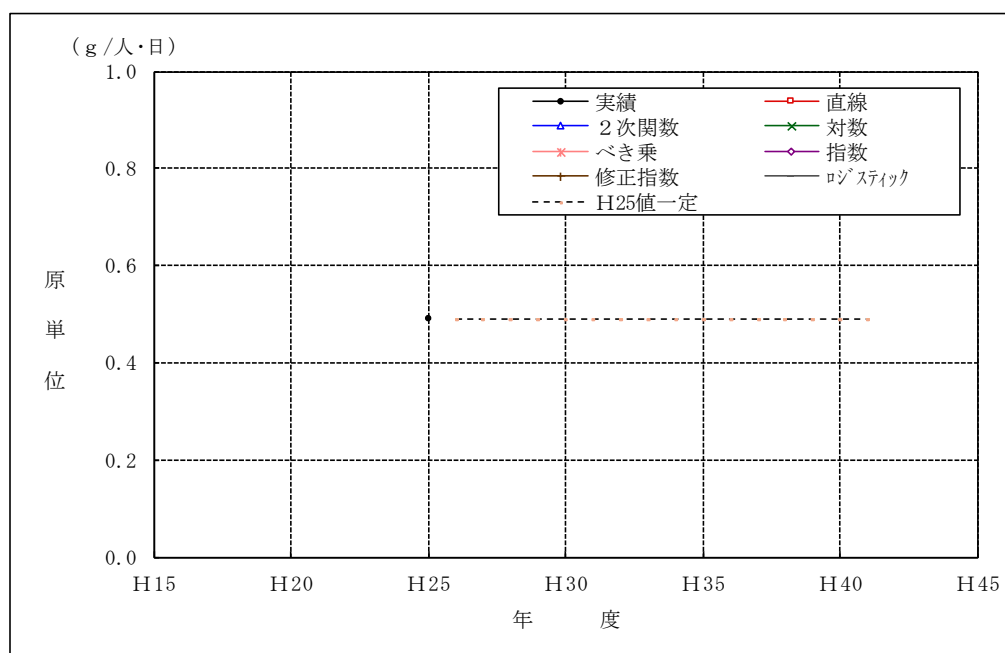


図 4-14 生活系不燃系資源ごみ（蛍光管）原単位の推計

表 4-18 生活系粗大ごみ原単位の推計

【実績値】		区 分 予 測 式	
年度	原単位	直線	$Y = 0.42000 \times X + 12.180$
H21	21.3	2次関数	$Y = -8.1229 \times X + 0.18571 \times X^2 + 110.05$
H22	21.6	対数	$Y = 9.5024 \times \log(X) - 7.9366$
H23	20.8	べき乗	$Y = 5.6715 \times X^{-0.43007}$
H24	22.6	指数	$Y = 14.095 \times 1.0192^X$
H25	22.9	修正指数	
		ロジスティック	
		対数-2	$= [\text{対数}] + 0.2$
		Y：予測値 X：年度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】								
年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	対数-2
H26	23.1	24.4	23.0	23.0	23.1			23.2
H27	23.5	26.1	23.4	23.4	23.6			23.6
H28	23.9	28.2	23.7	23.8	24.0			24.0
H29	24.4	30.7	24.1	24.1	24.5			24.3
H30	24.8	33.5	24.4	24.5	24.9			24.7
H31	25.2	36.7	24.7	24.8	25.4			25.0
H32	25.6	40.3	25.0	25.2	25.9			25.4
H33	26.0	44.2	25.3	25.5	26.4			25.7
H34	26.5	48.6	25.6	25.8	26.9			26.0
H35	26.9	53.3	25.8	26.2	27.4			26.4
H36	27.3	58.3	26.1	26.5	27.9			26.7
H37	27.7	63.7	26.4	26.8	28.5			27.0
H38	28.1	69.6	26.6	27.1	29.0			27.3
H39	28.6	75.7	26.9	27.4	29.6			27.6
H40	29.0	82.3	27.1	27.7	30.2			27.9
H41	29.4	89.2	27.4	28.0	30.7			28.2
相関	0.750479	0.846987	0.740068	0.732781	0.743214			

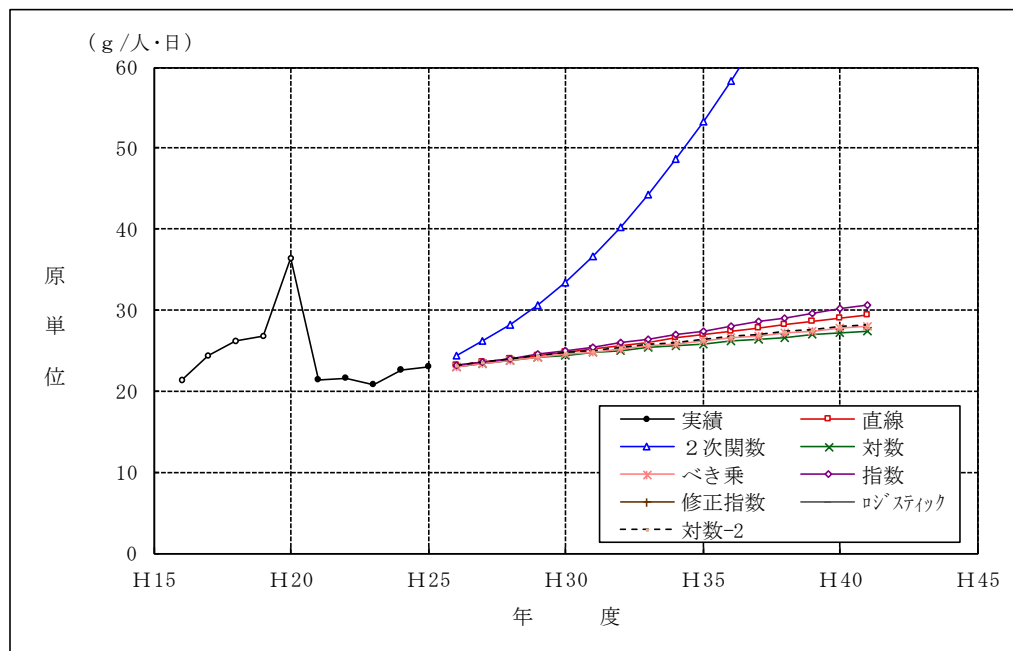


図 4-15 生活系粗大ごみ原単位の推計

② 事業系ごみ発生量の見込み

ア. 事業系ごみ発生量の推計方法

事業系ごみの実績は、表 4-19 に示すとおりです。

表 4-19 事業系ごみの実績

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
可燃ごみ	t/年	7,870	9,520	9,134	9,372	8,911	9,166	8,487	9,112	9,218	9,422
	t/日	21.56	26.08	25.02	25.61	24.41	25.11	23.25	24.90	25.25	25.81

イ. 事業系ごみ発生量の見込み

時系列分析の結果は、表 4-20 に示すとおりです。

表 4-20 事業系可燃ごみの推計

【実績値】

年度	原単位
H17	26.08
H18	25.02
H19	25.61
H20	24.41
H21	25.11
H22	23.25
H23	24.90
H24	25.25
H25	25.81

区 分	予 測 式
直線	$Y = -0.049500 \times X + 26.088$
2次関数	$Y = -4.0636 \times X + 0.95574 \times X^2 + 67.599$
対数	$Y = -1.2673 \times \log(X) + 28.897$
べき乗	$Y = 29.214 \times X^{-0.050814}$
指数	$Y = 26.102 \times 0.99802^X$
修正指数	
ロジスティック	
べき乗-2	$= [\text{べき乗}] + 1.00$
Y: 予測値 X: 年度	

注) 式中の数値は、有効数字5桁で整理する。

【推計値】

年度	直線	2次関数	対数	べき乗	指数	修正指数	ロジスティック	べき乗-2
H26	24.80	26.55	24.77	24.76	24.79			25.76
H27	24.75	27.56	24.72	24.71	24.74			25.71
H28	24.70	28.75	24.67	24.66	24.69			25.66
H29	24.65	30.13	24.63	24.62	24.64			25.62
H30	24.60	31.71	24.59	24.58	24.59			25.58
H31	24.55	33.47	24.55	24.54	24.54			25.54
H32	24.50	35.43	24.51	24.50	24.50			25.50
H33	24.45	37.58	24.47	24.46	24.45			25.46
H34	24.41	39.92	24.43	24.42	24.40			25.42
H35	24.36	42.45	24.39	24.39	24.35			25.39
H36	24.31	45.17	24.36	24.35	24.30			25.35
H37	24.26	48.09	24.32	24.32	24.25			25.32
H38	24.21	51.19	24.29	24.28	24.21			25.28
H39	24.16	54.49	24.25	24.25	24.16			25.25
H40	24.11	57.97	24.22	24.22	24.11			25.22
H41	24.06	61.65	24.19	24.19	24.06			25.19

相関	0.161042	0.722658	0.198407	0.195997	0.159090			
----	----------	----------	----------	----------	----------	--	--	--

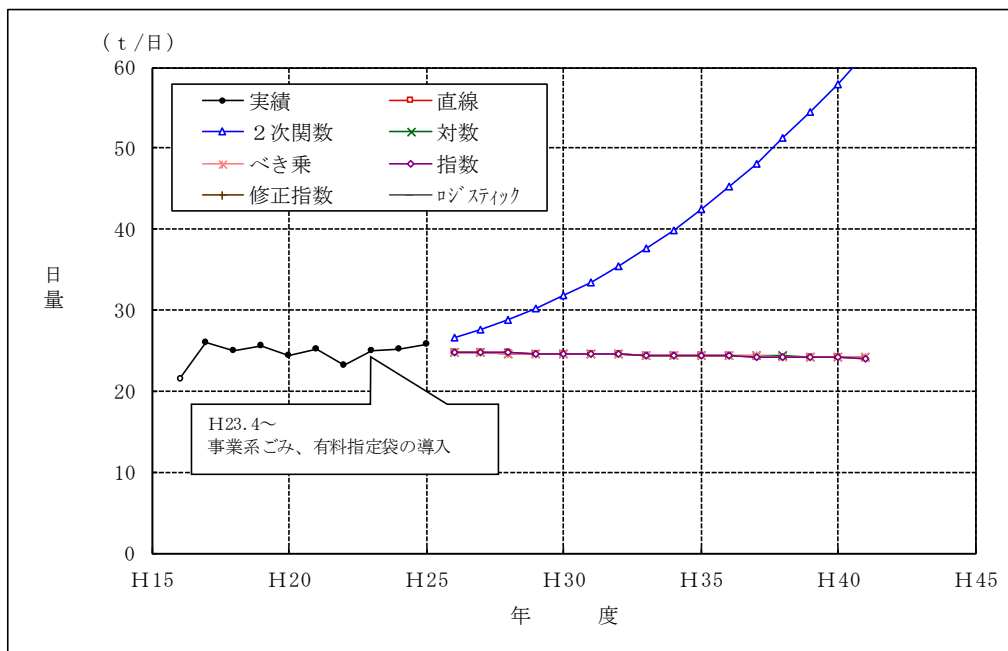


図 4-16 事業系可燃ごみの推計

③ ごみ発生量の見込み

ごみ発生量の見込みは、表 4-21 に示すとおりです。平成 41 年度に 20,170 t/年となり、平成 25 年度実績 24,184 t/年に対し、4,014 t/年、16.6%の減少となります。

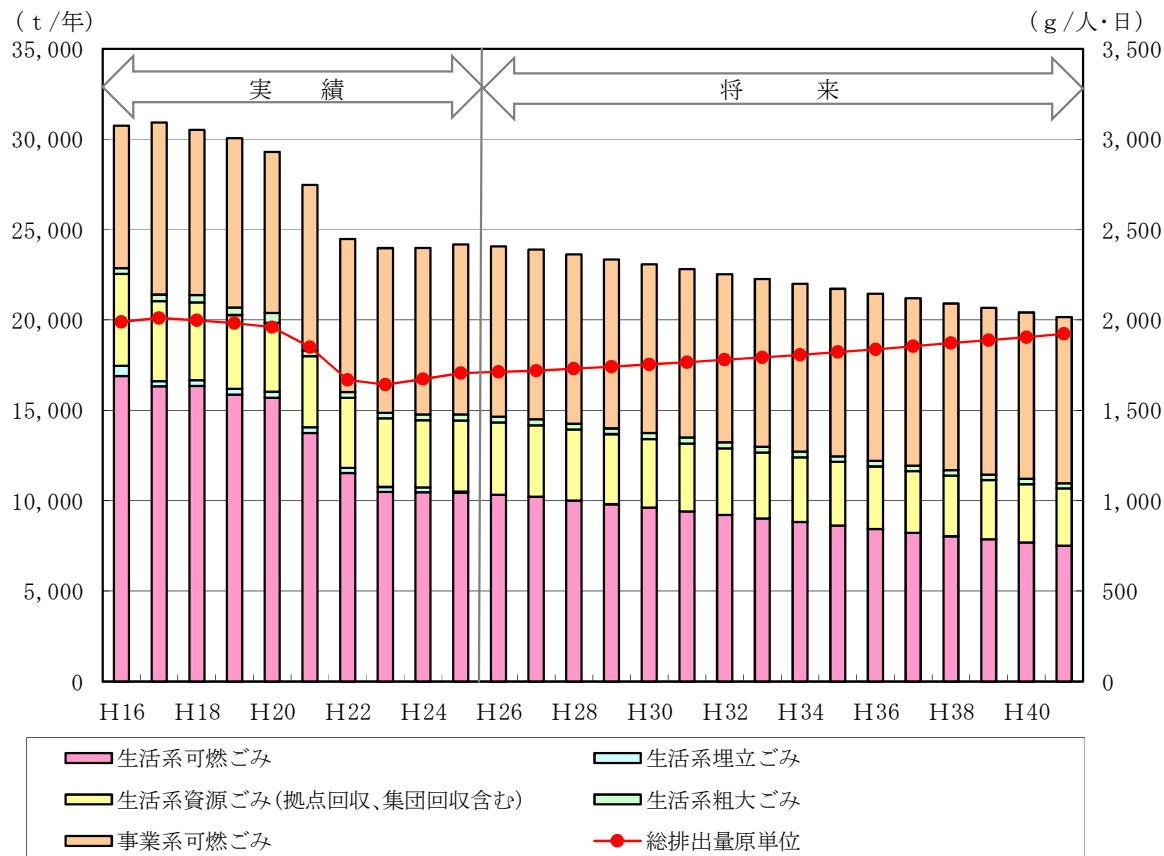


図 4-17 ごみ発生量の見込み

表 4-21 ごみ発生量の見込み

		年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
(1)	人	人	42,346	42,111	41,827	41,423	40,939	40,652	40,214	39,864	39,287	38,808	38,500	38,100	37,420	
(2)	生活系ごみ	可燃ごみ	g/人・日	1,094.2	1,063.0	1,071.0	1,046.8	1,050.8	926.9	785.6	718.8	730.6	736.1	734.64	733.34	731.94
(3)			t/年	16,912	16,339	16,351	15,871	15,702	13,753	11,531	10,488	10,477	10,427	10,341	10,217	10,015
(4)	資源ごみ	埋立ごみ	g/人・日	35.4	18.8	20.8	21.0	22.4	21.0	19.5	18.5	17.7	5.9	-	-	-
(5)			t/年	547	289	318	318	334	312	286	270	254	83	-	-	-
(6)	資源ごみ	古紙	g/人・日	120.9	92.2	90.8	87.3	80.8	117.7	119.1	124.8	121.5	127.9	128.8	129.8	130.9
(7)			t/年	1,869	1,417	1,386	1,323	1,207	1,746	1,748	1,821	1,742	1,811	1,810	1,805	1,788
(8)	資源ごみ	古布	g/人・日	1.1	1.1	1.2	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3
(9)			t/年	17	17	18	25	25	23	24	25	21	18	18	18	18
(10)	資源ごみ	飲料缶	g/人・日	35.9	35.8	28.2	25.7	23.8	18.9	15.7	16.2	15.7	15.1	14.8	14.4	14.0
(11)			t/年	555	550	431	389	356	280	230	236	225	214	208	200	191
(12)	資源ごみ	金属類	g/人・日	31.3	27.7	26.7	25.3	25.6	14.2	12.9	13.8	13.4	12.8	12.5	12.2	11.9
(13)			t/年	484	425	408	383	383	211	189	201	192	182	176	170	163
(14)	資源ごみ	ビン	g/人・日	69.1	62.1	68.8	69.2	66.9	59.5	60.0	56.1	58.1	59.7	59.3	59.1	58.9
(15)			t/年	1,068	954	1,050	1,049	999	883	881	819	833	845	834	822	805
(16)	資源ごみ	乾電池	g/人・日	0.91	0.85	1.05	1.06	1.34	1.01	1.02	1.03	0.91	0.99	0.99	1.00	1.00
(17)			t/年	14	13	16	16	20	15	15	15	13	14	14	14	14
(18)	資源ごみ	蛍光管	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	0.49	0.49	0.49	0.49	
(19)			t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7
(20)	資源ごみ	ガラス・セトモノ類	g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	10.4	17.12	17.91	18.71	
(21)			t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	147	241	249	256
(22)	資源ごみ	計	g/人・日	259.21	219.75	216.75	210.16	200.14	212.91	210.32	213.63	211.11	228.68	235.30	236.20	237.20
(23)			t/年	4,007	3,376	3,309	3,185	2,990	3,158	3,087	3,117	3,026	3,238	3,308	3,285	3,242
(24)	資源ごみ	粗大ごみ	g/人・日	21.4	24.3	26.1	26.7	36.4	21.3	21.6	20.8	22.6	22.9	23.2	23.6	24.0
(25)			t/年	330	373	398	405	544	316	317	304	324	324	326	328	328
(26)	資源ごみ	計	g/人・日	1,410.21	1,325.85	1,334.65	1,304.66	1,309.74	1,182.11	1,037.02	971.73	982.01	993.58	993.14	993.14	993.14
(27)			t/年	21,796	20,377	20,376	19,779	19,570	17,539	15,221	14,179	14,081	14,072	13,975	13,830	13,585
(28)	拠点回収	PETボトル	g/人・日	1.9	2.3	2.7	3.1	3.0	3.6	4.4	4.0	3.6	3.1	3.1	3.1	3.1
(29)			t/年	30	36	41	47	45	53	65	59	51	44	44	43	42
(30)	拠点回収	トレー	g/人・日	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14
(31)			t/年	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
(32)	拠点回収	発泡スチロール	g/人・日	0.39	0.26	0.26	0.26	0.20	0.27	0.20	0.07	0.28	0.14	0.22	0.22	0.22
(33)			t/年	6	4	4	4	3	4	3	1	4	2	3	3	3
(34)	拠点回収	計	g/人・日	2.35	2.63	3.03	3.43	3.27	3.94	4.74	4.21	4.02	3.38	3.46	3.46	3.46
(35)			t/年	37	41	46	52	49	58	70	62	57	48	49	48	47
(36)	資源ごみ	初島生ごみ堆肥	g/人・日	3.1	3.1	3.2	3.5	3.4	2.9	3.2	3.0	3.1	2.9	2.9	2.9	
(37)			t/年	48	48	49	53	51	43	47	44	44	41	41	40	40
(38)	資源ごみ	古紙	g/人・日	60.0	57.1	55.2	48.7	44.6	42.0	42.6	37.1	38.6	40.2	40.6	40.9	41.2
(39)			t/年	928	877	843	738	666	623	626	542	554	570	571	569	563
(40)	資源ごみ	古布	g/人・日	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
(41)			t/年	6	4	3	2	3	3	5	2	1	1	1	1	1
(42)	資源ごみ	金属類	g/人・日	2.3	2.3	2.6	2.6	2.7	2.2	2.3	2.1	2.1	2.0	1.9	1.9	
(43)			t/年	36	36	39	39	41	32	34	31	30	29	28	26	26
(44)	資源ごみ	ビン	g/人・日	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
(45)			t/年	10	8	6	6	6	4	4	3	2	1	1	1	1
(46)	資源ごみ	その他	g/人・日	1.2	1.0	1.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(47)			t/年	19	16	18	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(48)	資源ごみ	計	g/人・日	64.5	61.2	59.6	52.9	47.9	44.7	45.5	39.5	40.9	42.4	42.8	43.0	43.3
(49)			t/年	999	941	909	802	716	662	669	578	587	601	601	597	591
(50)	事業系ごみ	可燃ごみ	t/日	21.56	26.08	25.02	25.61	24.41	25.11	23.25	24.90	25.25	25.81	25.76	25.71	25.66
(51)			t/年	7,870	9,520	9,134	9,372	8,911	9,166	8,487	9,112	9,218	9,422	9,402	9,384	9,366
(52)	事業系ごみ	総計	t/年	30,750	30,927	30,514	30,058	29,297	27,468	24,494	23,975	23,987	24,184	24,068	23,899	23,629
(53)			g/人・日	1,989	2,012	1,999	1,983	1,961	1,851	1,669	1,643	1,673	1,707	1,713	1,719	1,730

H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備 考
36,740	36,060	35,380	34,700	34,020	33,340	32,660	31,980	31,300	30,620	29,990	29,360	28,730	『下水道計画』より
730.54	729.14	727.84	726.44	725.04	723.64	722.24	720.84	719.54	718.24	716.84	715.44	714.04	=時系列(生活系可燃系ごみ) -(6)+(8)+(28)+(30)+(32)+(36)+(38)+(40)
9,813	9,614	9,416	9,217	9,020	8,822	8,626	8,429	8,236	8,044	7,861	7,682	7,504	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
132.0	133.0	134.1	135.2	136.1	137.2	138.3	139.3	140.3	141.4	142.5	143.5	144.6	=時系列(古紙・古布)×75.46%[H25]
1,770	1,751	1,732	1,713	1,690	1,670	1,648	1,627	1,603	1,580	1,561	1,538	1,516	
1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	=時系列(古紙・古布)×0.75%[H25]
17	17	17	16	17	17	17	16	16	16	15	15	15	
13.7	13.4	13.0	12.8	12.5	12.2	12.0	11.7	11.5	11.4	11.1	10.9	10.7	=時系列(金属類)×50.36%[H25]
183	176	168	161	155	148	143	136	132	127	122	117	112	
11.6	11.3	11.1	10.8	10.6	10.4	10.2	10.0	9.8	9.6	9.5	9.3	9.1	=時系列(金属類)×42.82%[H25]
156	149	143	137	132	127	122	117	112	107	104	100	95	
58.7	58.6	58.4	58.2	58.0	57.9	57.7	57.6	57.4	57.3	57.1	57.0	56.9	=時系列(ビン)×99.88%[H25]
788	772	754	737	720	705	688	673	656	641	625	611	597	
1.01	1.01	1.01	1.02	1.02	1.03	1.03	1.03	1.04	1.04	1.04	1.05	1.05	=時系列(乾電池)
14	13	13	13	13	13	12	12	12	12	11	11	11	
0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	=時系列(蛍光管)
7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	
19.40	19.90	20.60	21.19	21.79	22.28	22.78	23.28	23.77	24.07	24.57	24.96	25.36	=時系列(生活系不燃系ごみ) -(10)+(12)+(14)+(16)+(18)+(42)+(44)
260	262	266	268	271	271	272	272	272	269	269	267	266	
238.20	239.00	240.00	241.00	241.90	242.90	243.90	244.80	245.70	246.70	247.70	248.60	249.60	= (6)+(8)+(10)+(12)+(14)+(16)+(18)+(20)
3,195	3,146	3,099	3,051	3,004	2,957	2,908	2,859	2,809	2,757	2,712	2,664	2,617	= (7)+(9)+(11)+(13)+(15)+(17)+(19)+(21)
24.3	24.7	25.0	25.4	25.7	26.0	26.4	26.7	27.0	27.3	27.6	27.9	28.2	=時系列(生活系粗大ごみ)
326	325	323	322	319	316	315	312	308	305	302	299	296	
993.04	992.84	992.84	992.84	992.64	992.54	992.54	992.34	992.24	992.24	992.14	991.94	991.84	= (2)+(22)+(24)
13,334	13,085	12,838	12,590	12,343	12,095	11,849	11,600	11,353	11,106	10,875	10,645	10,417	= (3)+(23)+(25)
3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	=時系列(PETボトル)
42	41	40	39	38	38	37	36	35	35	34	33	33	
0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	=時系列(トレー)
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	
0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	=時系列(発泡スチロール)
3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	
3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	3.46	= (28)+(30)+(32)
47	46	45	44	43	43	42	41	40	39	38	37	36	= (29)+(31)+(33)
2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	=時系列(初島区堆肥化量)
39	38	36	35	35	34	33	33	32	30	30	29	28	
41.5	41.9	42.2	42.5	42.9	43.2	43.5	43.9	44.2	44.5	44.8	45.2	45.5	=時系列(古紙・古布)×23.75%[H25]
557	551	545	538	533	526	519	512	505	497	490	484	477	
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	=時系列(古紙・古布)×0.04%[H25]
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	=時系列(金属類)×6.82%[H25]
24	24	23	22	21	21	19	19	18	17	16	16	16	
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	=時系列(ビン)×0.12%[H25]
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
43.5	43.9	44.2	44.4	44.8	45.1	45.3	45.7	46.0	46.2	46.5	46.9	47.2	= (38)+(40)+(42)+(44)+(46)
583	577	570	562	556	549	540	533	525	516	508	502	495	= (39)+(41)+(43)+(45)+(47)
25.62	25.58	25.54	25.5	25.46	25.42	25.39	25.35	25.32	25.28	25.25	25.22	25.19	=時系列(事業系可燃ごみ)
9,351	9,337	9,322	9,308	9,293	9,278	9,267	9,253	9,242	9,227	9,216	9,205	9,194	
23,354	23,083	22,811	22,539	22,270	21,999	21,731	21,460	21,192	20,918	20,667	20,418	20,170	= (27)+(35)+(37)+(49)+(51)
1,742	1,754	1,766	1,780	1,793	1,808	1,823	1,838	1,855	1,872	1,888	1,905	1,923	= (52)×10 ⁶ /(1)/365

④ 観光ごみ発生量の見込み

観光客1人当たり平均排出量を、「熱海市観光ごみ等研究会報告書」(平成21年10月)より、2.0 kg/人・日と設定し、観光客1人当たり平均排出量に日平均宿泊客数(=宿泊客+休憩客)を乗じて、観光ごみ発生量を算出します。その結果は、表4-22に示すとおりです。

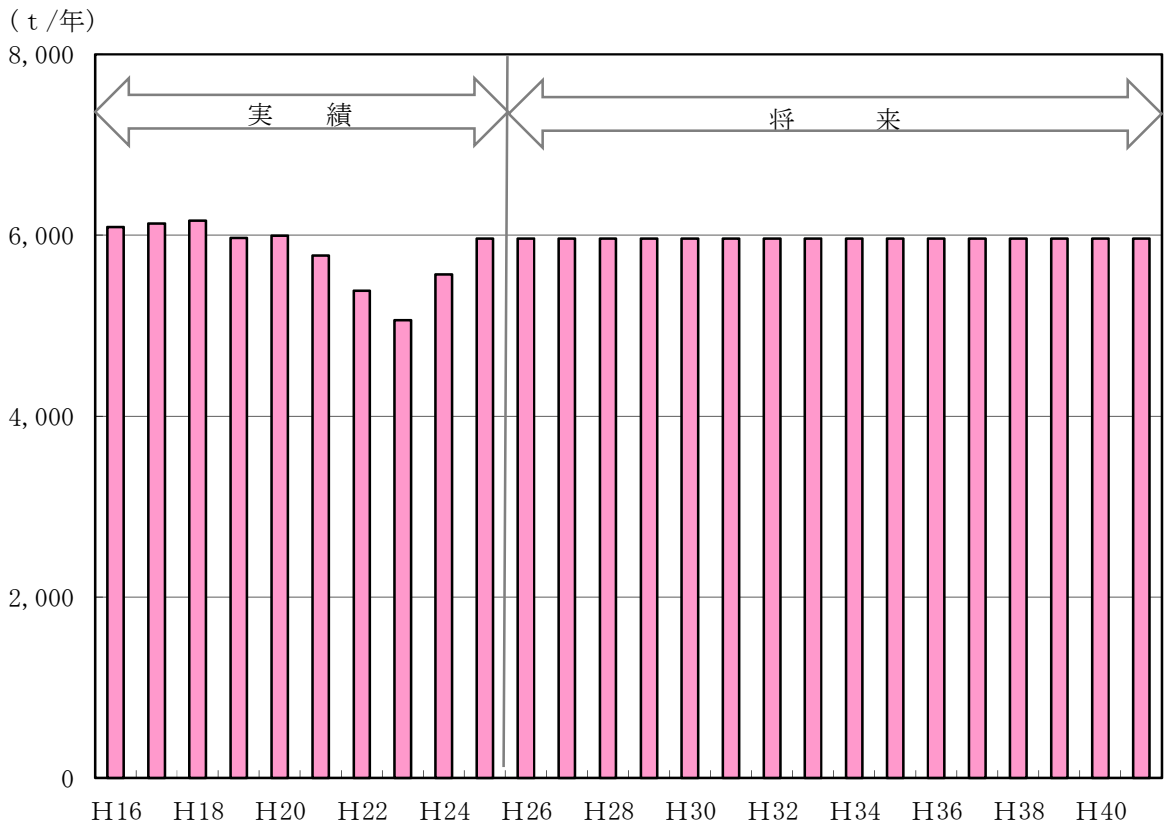


図4-18 観光ごみ発生量の見込み

表4-22 観光ごみの見込み

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
日 平 宿 均 泊 客	宿泊客	人	7,936	7,985	8,053	7,921	7,986	7,725	7,185	6,740	7,368	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867
	休憩客 (宿泊客換算)	人	410	415	389	232	224	186	194	173	255	302	302	302	302	302
	計	人	8,346	8,400	8,442	8,153	8,210	7,911	7,379	6,913	7,623	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169
観光ごみ	g/人・日	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	t/年	6,093	6,132	6,163	5,968	5,993	5,775	5,387	5,060	5,565	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963

年度		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
日 平 宿 均 泊 客	宿泊客	人	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867	7,867	=時系列(宿泊客)
	休憩客 (宿泊客換算)	人	302	302	302	302	302	302	302	302	302	302	=時系列(休憩客)
	計	人	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169	8,169	
観光ごみ	g/人・日	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
	t/年	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	5,963	

ここで、ごみ発生量の見込みから、観光ごみを差し引いたものを、表 4-23 に示します。

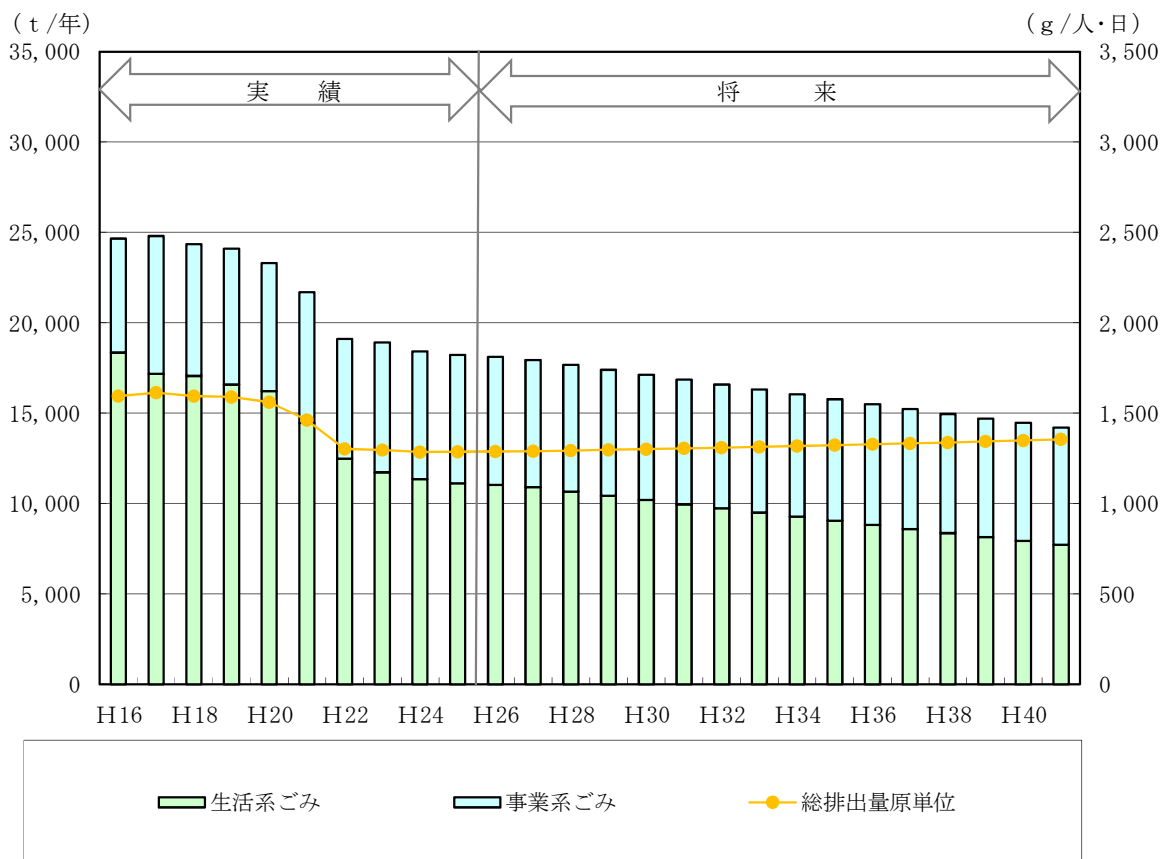


図 4-19 ごみ発生量の見込み(観光ごみを除いたもの)

表 4-23 ごみ発生量の見込み(観光ごみを除いたもの)

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
生活系ごみ	t/年	22,880	21,407	21,380	20,686	20,386	18,302	16,007	14,863	14,769	14,762	14,666	14,515	14,263	14,003	13,746
観光ごみ分	t/年	-4,534	-4,244	-4,318	-4,107	-4,170	-3,848	-3,520	-3,137	-3,426	-3,640	-3,634	-3,622	-3,599	-3,575	-3,551
	t/年	18,346	17,163	17,062	16,579	16,216	14,454	12,487	11,726	11,343	11,122	11,032	10,893	10,664	10,428	10,195
事業系ごみ	t/年	7,870	9,520	9,134	9,372	8,911	9,166	8,487	9,112	9,218	9,422	9,402	9,384	9,366	9,351	9,337
観光ごみ分	t/年	-1,559	-1,888	-1,845	-1,861	-1,823	-1,927	-1,867	-1,923	-2,139	-2,323	-2,329	-2,341	-2,364	-2,388	-2,412
	t/年	6,311	7,632	7,289	7,511	7,088	7,239	6,620	7,189	7,079	7,099	7,073	7,043	7,002	6,963	6,925
総計	t/年	24,657	24,795	24,351	24,090	23,304	21,693	19,107	18,915	18,422	18,221	18,105	17,936	17,666	17,391	17,120

年度		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
生活系ごみ	t/年	13,489	13,231	12,977	12,721	12,464	12,207	11,950	11,691	11,451	11,213	10,976	= (27) + (35) + (37) + (49)
観光ごみ分	t/年	-3,526	-3,500	-3,475	-3,448	-3,420	-3,392	-3,362	-3,333	-3,304	-3,275	-3,245	
	t/年	9,963	9,731	9,502	9,273	9,044	8,815	8,588	8,358	8,147	7,938	7,731	
事業系ごみ	t/年	9,322	9,308	9,293	9,278	9,267	9,253	9,242	9,227	9,216	9,205	9,194	= (51)
観光ごみ分	t/年	-2,437	-2,463	-2,488	-2,515	-2,543	-2,571	-2,601	-2,630	-2,659	-2,688	-2,718	
	t/年	6,885	6,845	6,805	6,763	6,724	6,682	6,641	6,597	6,557	6,517	6,476	
総計	t/年	16,848	16,576	16,307	16,036	15,768	15,497	15,229	14,955	14,704	14,455	14,207	= (56) + (59)

4-2 減量化等の目標

(1) 排出抑制の考え方

現況値[H25]に対し、平成 31 年度に **5%以上の削減**、平成 41 年度に **12%以上の削減**を
目指します。

表 4-24 目標値

			H25	H31	H41
家庭系ごみ	現状推移	g/人・日	785.2	771.5	737.2
	目 標	g/人・日	—	745.9	690.9
事業系ごみ	現状推移	t/日	19.45	18.86	17.74
	目 標	t/日	—	18.47	17.11

注) 観光ごみ除く。

(2) 資源回収の拡大の考え方

- ・古紙・古布は、組成分析、消費量から、まだ可燃ごみに混入しています。組成分析結果から 155.7 g/人・日[H41]が、可燃ごみに混入していることから、**20 g/人・日拡大**を資源化します。
- ・飲料缶、ビンについては、分別できないものも多く、ガラス・セトモノ類、金属類として資源化されると想定されるため、**現状維持**とします。
- ・PETボトルは、容器包装の全国回収より更なる回収拡大が可能と想定し、**6 g/人・日**の資源化を目標とします。
- ・発泡スチロール、トレーは、回収量も少なく、全国の推移等も考えて、**現状維持**とします。

資源ごみ（拠点回収、集団回収含む）の資源化量は、次頁参考資料の表-1、表-2を参考に、表 4-25 に示すとおり設定します。**古紙とPETボトルの収集拡大**を図ります。

表 4-25 家庭系ごみにおける資源化量の目標

(単位：g/人・日)

年度	H25	H31			H41		
	実績	発生量 (現状推移)	目標 (処理量)	目標の考え方	発生量 (現状推移)	目標 (処理量)	目標の考え方
古紙 (集団回収含む)	168.1	176.3	138.1	紙類の消費量はほぼ横ばいを示しています。 回収目標は平成41年度に、 8g/人・日 の拡大を図ります。	190.1	210.1	可燃ごみごみ質分析より、可燃ごみ714.04g/人・日[H41]中に「紙・布類」が155.7g/人・日あり、 20g/人・日 の拡大を図ります。
古布 (集団回収含む)	1.4	1.4	1.4	回収目標は、 現状推移 とします。	1.5	1.5	回収目標は、 現状推移 とします。
飲料缶	15.1	13.0	13.0	缶の消費重量は年々減少しています。 缶の全国値は7.5g/人・日であり、回収目標は、 現状推移 とします。	10.7	10.7	回収目標は、 現状推移 とします。
ビン (集団回収含む)	59.8	58.5	58.5	ビンの生産量は近年減少しています。 ビンの全国値は17.2g/人・日であり、回収目標は、 現状推移 とします。	57.0	57.0	回収目標は、 現状推移 とします。
PETボトル	3.1	3.1	4.1	PETボトルの販売量はほぼ横ばいを示しています。 回収目標は、平成41年度に全国値 6g/人・日 とします。	3.1	6	回収目標は、全国値 6g/人・日 とします。
トレー	0.14	0.14	0.14	トレーの消費量は把握できませんが、プラスチック製品の出荷数量はほぼ横ばいを示しています。 回収目標は、 現状推移 とします。	0.14	0.14	回収目標は、 現状推移 とします。
発泡スチロール	0.14	0.22	0.22	発泡スチロールの消費量は把握できませんが、プラスチック製品の出荷数量はほぼ横ばいを示しています。 回収目標は、 現状推移 とします。	0.22	0.22	回収目標は、 現状推移 とします。

注) 網掛け部分は、収集拡大を図るものを示します。

参考

表-1 容器包装の生産・消費量

		H21	H22	H23	H24	H25	資 料
総人口	千人	127,429	127,302	127,147	128,622	127,136	
ガラスびん生産量	千t	1,330	1,337	1,342	1,281	1,287	ガラスびんリサイクル 促進協議会
原単位	g/人・日	28.6	28.8	28.8	27.3	27.7	
スチール缶消費重量	千t	699	685	682	664	611	スチール缶リサイクル協会
アルミ缶消費重量	千t	293	296	298	301	304	アルミ缶リサイクル協会
計	千t	992	981	980	965	915	
原単位	g/人・日	21.3	21.1	21.1	20.6	19.7	
指定PETボトル 販売量	千t	564	595	604	583	579	PETボトルリサイクル 推進協議会
原単位	g/人・日	12.1	12.8	13.0	12.4	12.5	
プラスチック製品 出荷数量	千t	3,655	3,637	3,531	3,467	3,512	(社)日本包装技術協会
原単位	g/人・日	78.6	78.3	75.9	73.8	75.7	
新聞消費量	千t	4,464	4,386	3,973	4,086	4,132	(財)古紙再生促進センター
雑誌消費量	千t	2,327	2,298	2,234	2,170	2,135	(財)古紙再生促進センター
段ボール消費量	千t	7,341	7,903	8,052	7,867	8,083	(財)古紙再生促進センター
計	千t	14,132	14,587	14,259	14,123	14,350	
原単位	g/人・日	303.8	313.9	306.4	300.8	309.2	

注) 総人口、H21～24は「日本の廃棄物処理 平成24年度版」(平成26年3月 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部・廃棄物対策課)、H25は人口推計[確定値](総務省統計局)によります。

表-2 容器包装収集量

			H20	H21	H22	H23	H24
無色の ガラス製容器	分別収集量	t	327,230	328,402	326,614	322,665	315,630
	分別収集 対象人口	万人	12,631	12,657	12,654	12,590	12,536
	原単位	g/人・日	7.1	7.1	7.1	7.0	6.9
茶色の ガラス製容器	分別収集量	t	286,627	283,575	282,663	278,409	274,022
	分別収集 対象人口	万人	12,626	12,651	12,656	12,592	12,530
	原単位	g/人・日	6.2	6.1	6.1	6.0	6.0
その他の色の ガラス製容器	分別収集量	t	181,060	188,797	188,117	189,780	196,237
	分別収集 対象人口	万人	12,545	12,578	12,584	12,531	12,478
	原単位	g/人・日	4.0	4.1	4.1	4.1	4.3
紙製容器包装	分別収集量	t	83,804	88,856	93,107	91,251	88,698
	分別収集 対象人口	万人	4,418	4,899	4,423	4,392	4,317
	原単位	g/人・日	5.2	5.0	5.8	5.7	5.6
ペットボトル	分別収集量	t	283,866	287,340	296,815	297,839	299,241
	分別収集 対象人口	万人	12,714	12,724	12,610	12,607	12,688
	原単位	g/人・日	6.1	6.2	6.4	6.5	6.5
プラスチック 製容器包装	分別収集量	t	672,065	688,436	708,950	725,621	727,238
	分別収集 対象人口	万人	10,178	10,356	10,705	10,585	10,886
	原単位	g/人・日	18.1	18.2	18.1	18.7	18.3
うち 白色トレイ	分別収集量	t	3,470	3,368	3,242	2,784	2,578
	分別収集 対象人口	万人	4,466	4,299	4,584	3,177	3,221
	原単位	g/人・日	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
スチール製容器	分別収集量	t	249,294	245,149	226,038	218,637	207,845
	分別収集 対象人口	万人	12,566	12,560	12,555	12,471	12,424
	原単位	g/人・日	5.4	5.3	4.9	4.8	4.6
アルミ製容器	分別収集量	t	124,003	132,900	131,121	130,887	130,353
	分別収集 対象人口	万人	12,585	12,555	12,571	12,517	12,453
	原単位	g/人・日	2.7	2.9	2.9	2.9	2.9
段ボール製容器	分別収集量	t	553,615	597,751	603,244	615,841	604,528
	分別収集 対象人口	万人	11,162	11,685	11,749	11,225	11,880
	原単位	g/人・日	13.6	14.0	14.1	15.0	13.9
飲料用紙製容器	分別収集量	t	15,070	15,213	15,612	14,447	15,079
	分別収集 対象人口	万人	11,101	11,186	11,254	11,668	11,212
	原単位	g/人・日	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4

資料：「平成24年度容器包装リサイクル法に基づく市町村の分別収集及び再商品化の実績について」（環境省 廃棄物・リサイクル対策部 企画課 リサイクル推進室）

【参考】熱海市

H25	備考
846	ビン
38,808	(人)
59.7	
1,392	実態調査
38,808	(人)
98.3	
44	
38,808	(人)
3.1	
2	
38,808	(人)
0.1	
214	飲料缶
38,808	(人)
15.1	
1	実態調査
38,808	(人)
0.1	

注) 集団回収含む

可燃ごみのごみ質分析は乾基準で行っており、表-3に示す種類組成の水分量を参考に水分比を設定し、ごみ発生時における湿ベースでのごみ質を算定します。

表-3 可燃ごみのごみ質 (湿ベース) [H25]
(単位：%)

	乾ベース	水分量	湿ベース
紙・布類	42.4	3.5	21.8
木・竹類	25.5	21.5	22.3
合成樹脂	9.9	0.3	4.8
厨芥類	15.5	85.3	47.9
不燃雑芥類	1.5	0.0	0.7
その他	5.2	0.0	2.5
計	100.0		100.0

表-4 都市ごみを構成する代表的な可燃物の三成分値 [湿ベース]

(単位：%)

試料		水分	可燃分	灰分	試料		水分	可燃分	灰分	
紙類	新聞紙	8.9	89.0	2.1	ゴム	タイヤ	0.9	97.5	1.6	
	ボール紙	8.1	83.6	8.7		ホース	1.3	71.7	27.0	
	ダンボール紙	7.6	89.4	3.0		輪ゴム	0.8	96.9	2.3	
	広告紙	5.2	71.7	23.1	プラスチック類	ビニール袋	0.3	99.5	0.2	
	包装紙	7.5	91.9	0.6		ごみ袋	0.1	99.2	0.7	
	ノート	6.3	86.0	7.7		タライ	0.1	99.5	0.4	
	ちり紙	6.8	88.4	4.8		ごみ箱	0.4	99.3	0.3	
	牛乳パック	5.8	94.0	0.2		菓子袋	1.9	97.7	0.4	
	新聞紙*	30.2	68.4	1.4		乳酸飲料容器	0.3	99.6	0.1	
	ボール紙*	30.2	66.0	3.8		食品容器	0.5	98.9	0.6	
ダンボール*	30.2	67.4	2.4	発泡トレイ		1.0	98.1	0.9		
包装紙*	30.2	68.3	1.5	玩具		0.4	99.5	0.1		
植物性厨芥	76.2	22.7	1.1	洗剤容器		0.6	99.3	0.1		
動物性厨芥	66.2	32.1	1.7	サランラップ	0.3	99.6	0.1			
残飯	48.9	50.7	0.4	しょう油容器	0.4	99.5	0.1			
厨芥*	69.6	27.5	2.9	レトルト食品袋	0.3	84.4	15.3			
繊維類	木綿	4.6	95.3	0.1	雑類	ビール樽(内)	0.2	99.7	0.1	
	毛糸	7.9	91.2	0.9		ビール樽(外)	0.3	99.6	0.1	
	ナイロン	2.4	97.4	0.2		スポンジ	6.4	89.8	3.7	
	アクリル	1.4	98.5	0.1		ビニール袋*	24.1	74.1	4.6	
	ポリエステル	1.0	98.7	0.3		ごみ袋*	24.1	71.3	1.8	
草木皮革	草	34.5	61.0	4.5		発泡トレイ*	24.1	74.6	1.3	
	木	34.5	65.2	0.3		汚泥	石灰薬注汚泥	82.8	9.8	7.4
	サイフ	11.2	87.9	0.9			熱処理汚泥	60.8	28.7	10.5
	ベルト	12.8	85.7	1.5			高分子薬注汚泥	80.7	16.3	3.0

注) *は、ごみ焼却施設で採取した資料

出典：ごみ処理施設整備の計画・設計要領 (社)全国都市清掃会議

4-3 ごみ処理量の見込み

「4-1 ごみ発生量の見込み」で推計したごみ発生量に、「4-2 減量化等の目標」の目標を達成した将来量を、ごみ処理量として、表 4-26 に示します。

その結果、ごみ処理量の見込みは、平成 41 年度に 19,438 t/年となり、平成 25 年度実績 24,184 t/年に対し、4,746 t/年、19.6%の減少となります。

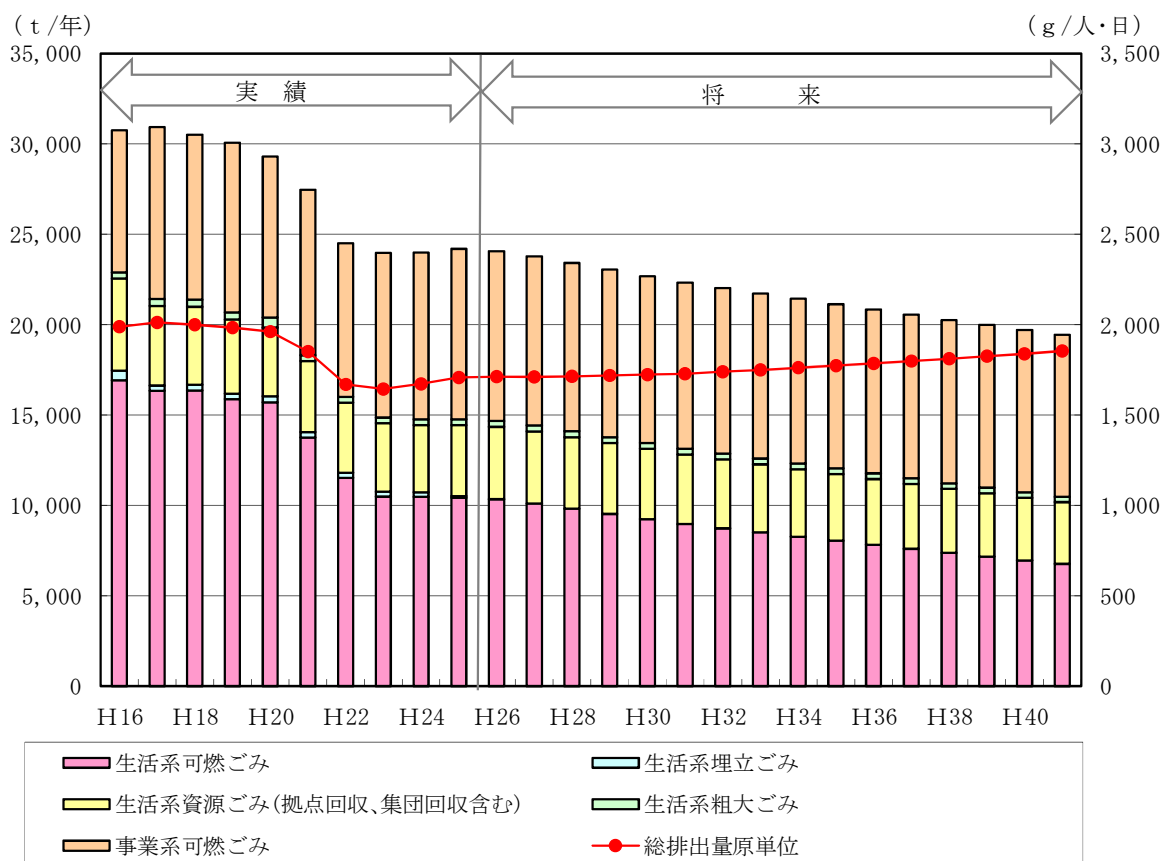


図 4-20 ごみ処理量の推移

表 4-26 ごみ処理量の見込み

		年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28			
[1]	人	人	42,346	42,111	41,827	41,423	40,939	40,652	40,214	39,864	39,287	38,808	38,500	38,100	37,420			
[2]	生活系ごみ	可燃ごみ	g/人・日	1,094.2	1,063.0	1,071.0	1,046.8	1,050.8	926.9	785.6	718.8	730.6	736.10	734.64	733.34	731.94		
[3]		排出抑制	g/人・日													-5.1	-10.2	
[4]		古紙の回収拡大	g/人・日														-1.3	-2.6
[5]		PETボトルの回収拡大	g/人・日														-0.2	-0.4
[6]			g/人・日	1,094.2	1,063.0	1,071.0	1,046.8	1,050.8	926.9	785.6	718.8	730.6	736.10	734.64	726.74	718.74		
[7]			t/年	16,912	16,339	16,351	15,871	15,702	13,753	11,531	10,488	10,477	10,427	10,341	10,106	9,817		
[8]	埋立ごみ	g/人・日	35.4	18.8	20.8	21.0	22.4	21.0	19.5	18.5	17.7	5.9	-	-	-			
[9]		t/年	547	289	318	318	334	312	286	270	254	83	-	-	-			
[10]	資源ごみ	古紙	回収拡大	g/人・日	120.9	92.2	90.8	87.3	80.8	117.7	119.1	124.8	121.5	127.9	128.8	129.8	130.9	
[11]				g/人・日	120.9	92.2	90.8	87.3	80.8	117.7	119.1	124.8	121.5	127.9	128.8	130.8	132.9	
[12]				t/年	1,869	1,417	1,386	1,323	1,207	1,746	1,748	1,821	1,742	1,811	1,810	1,819	1,815	
[13]		古布		g/人・日	1.1	1.1	1.2	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	
[14]				g/人・日	1.1	1.1	1.2	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	
[15]				t/年	17	17	18	25	25	23	24	25	21	18	18	18	18	18
[16]		飲料缶		g/人・日	35.9	35.8	28.2	25.7	23.8	18.9	15.7	16.2	15.7	15.1	14.8	14.4	14.0	
[17]				t/年	555	550	431	389	356	280	230	236	225	214	208	200	191	
[18]				金属類		g/人・日	31.3	27.7	26.7	25.3	25.6	14.2	12.9	13.8	13.4	12.8	12.5	12.2
[19]		t/年	484			425	408	383	383	211	189	201	192	182	176	170	163	
[20]		ビン				g/人・日	69.1	62.1	68.8	69.2	66.9	59.5	60.0	56.1	58.1	59.7	59.3	59.1
[21]				t/年	1,068	954	1,050	1,049	999	883	881	819	833	845	834	822	805	
[22]				乾電池		g/人・日	0.91	0.85	1.05	1.06	1.34	1.01	1.02	1.03	0.91	0.99	0.99	1.00
[23]		t/年	14			13	16	16	20	15	15	15	13	14	14	14	14	
[24]		蛍光管				g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.49	0.49	0.49
[25]	t/年			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	
[26]	ガラス・セトモノ類				g/人・日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.4	17.1	17.9	18.7
[27]		t/年	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	147	241	249	256	
[28]		計	g/人・日		259.21	219.75	216.75	210.16	200.14	212.91	210.32	213.63	211.11	228.68	235.30	237.20	239.20	
[29]	t/年	4,007	3,376	3,309	3,185	2,990	3,158	3,087	3,117	3,026	3,238	3,308	3,299	3,269				
[30]	粗大ごみ	g/人・日	21.4	24.3	26.1	26.7	36.4	21.3	21.6	20.8	22.6	22.9	23.2	23.6	24.0			
[31]		t/年	330	373	398	405	544	316	317	304	324	324	326	328	328			
[32]	計	g/人・日	1,410.21	1,325.85	1,334.65	1,304.66	1,309.74	1,182.11	1,037.02	971.73	982.01	993.58	993.14	987.54	981.94			
[33]		t/年	21,796	20,377	20,376	19,779	19,570	17,539	15,221	14,179	14,081	14,072	13,975	13,733	13,414			
[34]	拠点回収	PETボトル	回収拡大	g/人・日	1.9	2.3	2.7	3.1	3.0	3.6	4.4	4.0	3.6	3.1	3.1	3.1		
[35]				g/人・日	1.9	2.3	2.7	3.1	3.0	3.6	4.4	4.0	3.6	3.1	3.1	3.3	3.5	
[36]				t/年	30	36	41	47	45	53	65	59	51	44	44	46	48	
[37]		トレー		g/人・日	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	
[38]				t/年	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	
[39]				発泡スチロール		g/人・日	0.39	0.26	0.26	0.26	0.20	0.27	0.20	0.07	0.28	0.14	0.22	0.22
[40]		t/年	6			4	4	4	3	4	3	1	4	2	3	3	3	
[41]		計	g/人・日			2.35	2.63	3.03	3.43	3.27	3.94	4.74	4.21	4.02	3.38	3.46	3.66	3.86
[42]		t/年	37	41	46	52	49	58	70	62	57	48	49	51	53			
[43]		初島生ごみ堆肥	g/人・日	3.1	3.1	3.2	3.5	3.4	2.9	3.2	3.0	3.1	2.9	2.9	2.9	2.9		
[44]		t/年	48	48	49	53	51	43	47	44	44	41	41	40	40			
[45]	資源ごみ集回収	古紙	回収拡大	g/人・日	60.0	57.1	55.2	48.7	44.6	42.0	42.6	37.1	38.6	40.2	40.6	40.9	41.2	
[46]				g/人・日	60.0	57.1	55.2	48.7	44.6	42.0	42.6	37.1	38.6	40.2	40.6	41.2	41.8	
[47]				t/年	928	877	843	738	666	623	626	542	554	570	571	573	571	
[48]		古布		g/人・日	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
[49]				t/年	6	4	3	2	3	3	5	2	1	1	1	1	1	
[50]				金属類		g/人・日	2.3	2.3	2.6	2.6	2.7	2.2	2.3	2.1	2.1	2.0	2.0	1.9
[51]		t/年	36			36	39	39	41	32	34	31	30	29	28	26	26	
[52]		ビン				g/人・日	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
[53]				t/年	10	8	6	6	6	4	4	3	2	1	1	1	1	
[54]				その他		g/人・日	1.2	1.0	1.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
[55]	t/年	19	16			18	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
[56]	計	g/人・日	64.5			61.2	59.6	52.9	47.9	44.7	45.5	39.5	40.9	42.4	42.8	43.3	43.9	
[57]	t/年	999	941	909	802	716	662	669	578	587	601	601	601	599				
[58]	事業系ごみ	可燃ごみ	排出抑制	t/日	21.56	26.08	25.02	25.61	24.41	25.11	23.25	24.90	25.25	25.81	25.76	25.71	25.66	
[59]				t/日	21.56	26.08	25.02	25.61	24.41	25.11	23.25	24.90	25.25	25.81	25.76	25.63	25.50	
[60]				t/年	7,870	9,520	9,134	9,372	8,911	9,166	8,487	9,112	9,218	9,422	9,402	9,355	9,308	
[61]				t/年	30,750	30,927	30,514	30,058	29,297	27,468	24,494	23,975	23,987	24,184	24,068	23,780	23,414	
[62]	総計	g/人・日	1,989	2,012	1,999	1,983	1,961	1,851	1,669	1,643	1,673	1,707	1,713	1,710	1,714			

H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
36,740	36,060	35,380	34,700	34,020	33,340	32,660	31,980	31,300	30,620	29,990	29,360	28,730	= (1)
730.54	729.14	727.84	726.44	725.04	723.64	722.24	720.84	719.54	718.24	716.84	715.44	714.04	= (2)
-15.4	-20.5	-25.6	-27.7	-29.7	-31.8	-33.9	-36.0	-38.0	-40.1	-42.2	-44.2	-46.3	生活系ごみ原単位に対し、5%削減[H31]、12%削減[H41]
-4.0	-5.4	-6.7	-8.0	-9.3	-10.7	-12.0	-13.3	-14.6	-16.0	-17.4	-18.7	-20.0	=-[11]-[53]
-0.6	-0.8	-1.0	-1.2	-1.4	-1.5	-1.7	-1.9	-2.1	-2.3	-2.5	-2.7	-2.9	=-[37]
710.54	702.44	694.54	689.54	684.64	679.64	674.64	669.64	664.84	659.84	654.74	649.84	644.84	=Σ[2]~[5]
9,528	9,245	8,969	8,733	8,501	8,271	8,042	7,817	7,595	7,375	7,167	6,964	6,762	= (4)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	= (6)
132.0	133.0	134.1	135.2	136.1	137.2	138.3	139.3	140.3	141.4	142.5	143.5	144.6	= (6)
3.0	4.1	5.1	6.1	7.1	8.1	9.1	10.1	11.1	12.2	13.2	14.2	15.2	古紙(分別収集+拠点回収)20g/人・日拡大
135.0	137.1	139.2	141.3	143.2	145.3	147.4	149.4	151.4	153.6	155.7	157.7	159.8	=Σ[2]~[5]
1,810	1,804	1,798	1,790	1,778	1,768	1,757	1,744	1,730	1,717	1,704	1,690	1,676	= (8)
1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	= (8)
17	17	17	16	17	17	17	16	16	16	15	15	15	= (12)
13.7	13.4	13.0	12.8	12.5	12.2	12.0	11.7	11.5	11.4	11.1	10.9	10.7	= (10)
183	176	168	161	155	148	143	136	132	127	122	117	112	= (14)
11.6	11.3	11.1	10.8	10.6	10.4	10.2	10.0	9.8	9.6	9.5	9.3	9.1	= (12)
156	149	143	137	132	127	122	117	112	107	104	100	95	= (14)
58.7	58.6	58.4	58.2	58.0	57.9	57.7	57.6	57.4	57.3	57.1	57.0	56.9	= (14)
788	772	754	737	720	705	688	673	656	641	625	611	597	= (16)
1.01	1.01	1.01	1.02	1.02	1.03	1.03	1.03	1.04	1.04	1.04	1.05	1.05	= (16)
14	13	13	13	13	13	12	12	12	12	11	11	11	= (18)
0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	= (18)
7	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	= (20)
19.4	19.9	20.6	21.2	21.8	22.3	22.8	23.3	23.8	24.1	24.6	25.0	25.4	= (20)
260	262	266	268	271	271	272	272	272	269	269	267	266	= [12]+[14]+[16]+[18]+[20]+[22]+[24]+[26]
241.20	243.10	245.10	247.10	249.00	251.00	253.00	254.90	256.80	258.90	260.90	262.80	264.80	= [12]+[14]+[16]+[18]+[20]+[22]+[24]+[26]
3,235	3,199	3,165	3,128	3,092	3,055	3,017	2,976	2,936	2,894	2,855	2,816	2,777	= (24)
24.3	24.7	25.0	25.4	25.7	26.0	26.4	26.7	27.0	27.3	27.6	27.9	28.2	= (24)
326	325	323	322	319	316	315	312	308	305	302	299	296	= [6]+[28]+[30]
976.04	970.24	964.64	962.04	959.34	956.64	954.04	951.24	948.64	946.04	943.24	940.54	937.84	= [6]+[28]+[30]
13,089	12,769	12,457	12,183	11,912	11,642	11,374	11,105	10,839	10,574	10,324	10,079	9,835	= (28)
3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	= (28)
0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.5	1.7	1.9	2.1	2.3	2.5	2.7	2.9	6g/人・日を目指す
3.7	3.9	4.1	4.3	4.5	4.6	4.8	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8	6.0	6g/人・日を目指す
50	51	53	54	56	56	57	58	59	60	61	62	63	= (30)
0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	= (30)
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	= (32)
0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	= (32)
3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	= [36]+[38]+[40]
4.06	4.26	4.46	4.66	4.86	4.96	5.16	5.36	5.56	5.76	5.96	6.16	6.36	= [36]+[38]+[40]
55	56	58	59	61	61	62	63	64	65	66	66	66	= (36)
2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7	= (36)
39	38	36	35	35	34	33	33	32	30	30	29	28	= (37)
41.5	41.9	42.2	42.5	42.9	43.2	43.5	43.9	44.2	44.5	44.8	45.2	45.5	= (38)
1.0	1.3	1.6	1.9	2.2	2.6	2.9	3.2	3.5	3.8	4.2	4.5	4.8	古紙(分別収集+拠点回収)20g/人・日拡大
42.5	43.2	43.8	44.4	45.1	45.8	46.4	47.1	47.7	48.3	49.0	49.7	50.3	= (40)
570	569	566	562	560	557	553	550	545	540	536	533	527	= (40)
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	= (40)
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	= (42)
1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	= (42)
24	24	23	22	21	21	19	19	18	17	16	16	16	= (44)
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	= (44)
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	= (46)
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	= (46)
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	= [48]+[50]+[52]+[54]+[56]
44.5	45.2	45.8	46.3	47.0	47.7	48.2	48.9	49.5	50.0	50.7	51.4	52.0	= [48]+[50]+[52]+[54]+[56]
596	595	591	586	583	580	574	571	565	559	554	551	545	= [48]+[50]+[52]+[54]+[56]
25.62	25.58	25.54	25.50	25.46	25.42	25.39	25.35	25.32	25.28	25.25	25.22	25.19	= [48]+[50]+[52]+[54]+[56]
-0.23	-0.31	-0.39	-0.41	-0.44	-0.46	-0.49	-0.51	-0.53	-0.56	-0.58	-0.61	-0.63	事業系ごみ日量に対し、5%削減[H31]、12%削減[H41]
25.39	25.27	25.15	25.09	25.02	24.96	24.90	24.84	24.79	24.72	24.67	24.61	24.56	=Σ[60]~[61]
9,267	9,224	9,180	9,158	9,132	9,110	9,089	9,067	9,048	9,023	9,005	8,983	8,964	= [33]+[43]+[45]+[59]+[63]
23,046	22,682	22,322	22,021	21,723	21,427	21,132	20,839	20,548	20,250	19,978	19,708	19,438	= [33]+[43]+[45]+[59]+[63]
1,719	1,723	1,729	1,739	1,749	1,761	1,773	1,785	1,799	1,812	1,825	1,839	1,854	= [64]×10 ⁵ /[1]/365

ここで、ごみ処理量の見込みから、観光ごみを差し引いたものを、表 4-27 に示します。

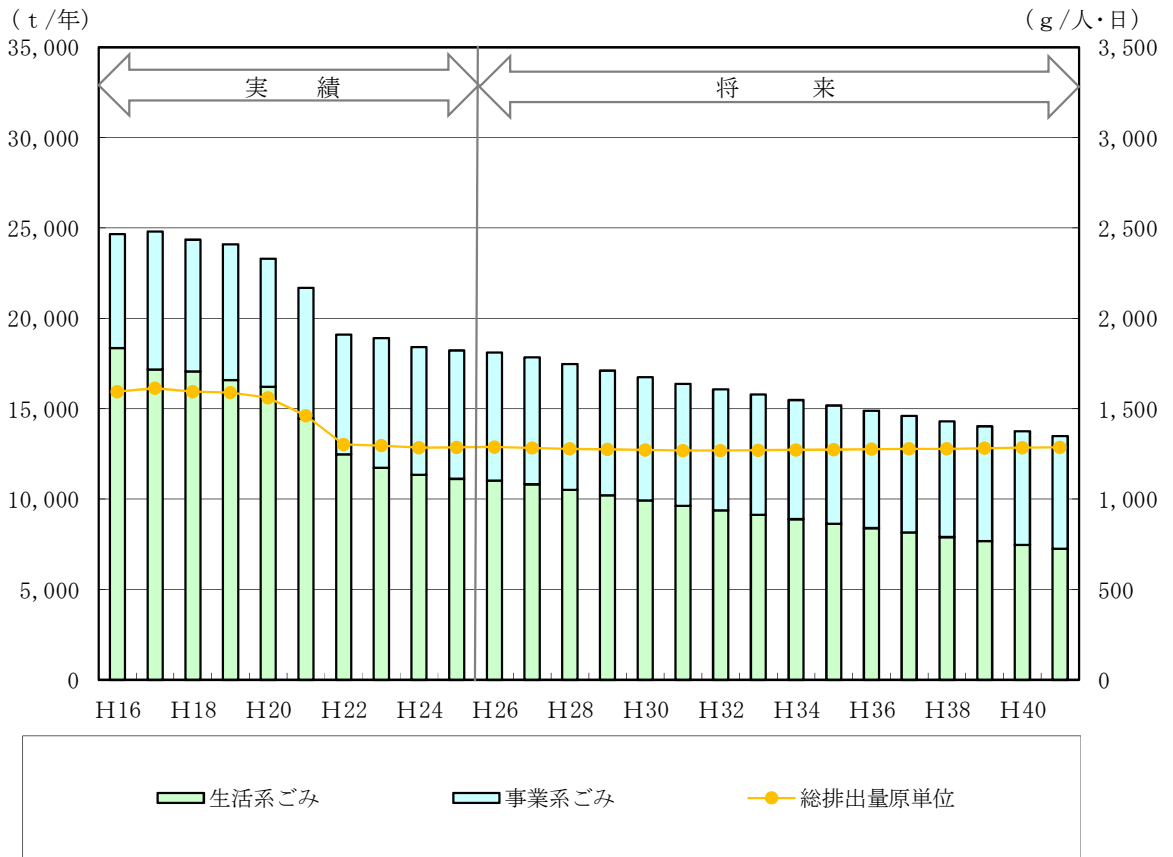


図 4-21 ごみ処理量の見込み(観光ごみを除いたもの)

表 4-27 ごみ処理量の見込み(観光ごみを除いたもの)

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
生活系ごみ[観光ごみ除く]	g/人・日	1,187.0	1,116.6	1,117.6	1,093.5	1,085.2	974.1	850.7	803.7	791.0	785.2	785.1	783.3	780.8	777.6	774.6	771.5
	排出抑制 g/人・日												-5.1	-10.2	-15.4	-20.5	-25.6
	g/人・日	1,187.0	1,116.6	1,117.6	1,093.5	1,085.2	974.1	850.7	803.7	791.0	785.2	785.1	778.2	770.6	762.2	754.1	745.9
	t/年	18,346	17,163	17,062	16,579	16,216	14,454	12,487	11,726	11,343	11,122	11,033	10,822	10,525	10,221	9,925	9,632
事業系ごみ[観光ごみ除く]	t/日	17.29	20.91	19.97	20.52	19.42	19.83	18.14	19.64	19.39	19.45	19.38	19.30	19.18	19.08	18.97	18.86
	排出抑制 t/日												-0.08	-0.16	-0.23	-0.31	-0.39
	t/日	17.29	20.91	19.97	20.52	19.42	19.83	18.14	19.64	19.39	19.45	19.38	19.22	19.02	18.85	18.66	18.47
	t/年	6,311	7,632	7,289	7,511	7,088	7,239	6,620	7,189	7,079	7,099	7,073	7,015	6,942	6,880	6,811	6,742
総 計	t/年	24,657	24,795	24,351	24,090	23,304	21,693	19,107	18,915	18,422	18,221	18,106	17,837	17,467	17,101	16,736	16,374
	g/人・日	1,595	1,613	1,595	1,589	1,560	1,462	1,302	1,296	1,285	1,286	1,288	1,283	1,279	1,275	1,272	1,268

年度		H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備 考	
生活系ごみ[観光ごみ除く]	g/人・日	768.3	765.2	762.0	758.7	755.2	751.7	747.8	744.3	740.7	737.2		
	排出抑制 g/人・日	-27.7	-29.7	-31.8	-33.9	-36.0	-38.0	-40.1	-42.2	-44.2	-46.3		
	g/人・日	740.6	735.5	730.2	724.8	719.2	713.7	707.7	702.1	696.5	690.9		
	t/年	9,380	9,133	8,886	8,640	8,395	8,154	7,909	7,685	7,464	7,245		
事業系ごみ[観光ごみ除く]	t/日	18.75	18.64	18.53	18.42	18.31	18.19	18.07	17.96	17.85	17.74		
	排出抑制 t/日	-0.41	-0.44	-0.46	-0.49	-0.51	-0.53	-0.56	-0.58	-0.61	-0.63		
	t/日	18.34	18.20	18.07	17.93	17.80	17.66	17.51	17.38	17.24	17.11		
	t/年	6,694	6,643	6,596	6,544	6,497	6,446	6,391	6,344	6,293	6,245		
総 計	t/年	16,074	15,776	15,482	15,184	14,892	14,600	14,300	14,029	13,757	13,490		
	g/人・日	1,269	1,270	1,272	1,274	1,276	1,278	1,279	1,282	1,284	1,286		

ごみ処理量の見込みから、それぞれの施設の処理処分量を、表4-28～表4-31に示します。

表4-28 ごみ焼却施設の処理量

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
[66]	生活系可燃ごみ	16,912	16,339	16,351	15,871	15,702	13,753	11,531	10,488	10,477	10,427	10,341	10,106	9,817	9,528
[67]	事業系可燃ごみ	7,870	9,520	9,134	9,372	8,911	9,166	8,487	9,112	9,218	9,422	9,402	9,355	9,308	9,267
[68]	処理量 破砕・選別設備 からの可燃物	342	336	338	334	370	192	181	180	194	170	169	167	165	162
[69]	資源処理設備 からの可燃物	142	182	107	85	81	35	30	30	27	23	22	21	20	20
[70]	計	25,266	26,377	25,930	25,662	25,064	23,146	20,229	19,810	19,916	20,042	19,934	19,649	19,310	18,977
[71]	焼却灰(埋立)	1,420	1,151	980	1,685	1,322	1,325	102	12	186	11	—	—	—	—
[72]	焼却灰(資源化)	1,543	1,535	1,665	1,410	1,448	1,365	2,342	2,216	1,982	2,025	2,023	1,995	1,960	1,926

表4-29 破砕・選別設備の処理量

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
[73]	処理量 粗大ごみ	330	373	398	405	544	316	317	304	324	324	326	328	328	326
[74]	金属類 (破砕処理必要量)	361	290	293	383	383	211	189	201	192	182	176	170	163	156
[75]	計	691	663	691	788	927	527	506	505	516	506	502	498	491	482
[76]	処理内訳 可燃物	342	336	338	334	370	192	181	180	194	170	169	167	165	162
[77]	不燃物	84	77	108	111	115	70	80	78	80	64	63	63	62	61
[78]	金属類	256	243	239	227	226	149	139	132	127	94	93	93	91	90
[79]	計	682	656	685	672	711	411	400	390	401	328	325	323	318	313
[80]	小型家電製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90	89	89	87	86
[81]	直接資源化 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90	89	89	87	86
[82]	総計	682	656	685	672	711	411	400	390	401	418	414	412	405	399

表4-30 資源選別設備の処理量

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
[83]	処理量 飲料缶	555	550	431	389	356	280	230	236	225	214	208	200	191	183
[84]	処理内訳 可燃物	142	182	107	85	81	35	30	30	27	23	22	21	20	20
[85]	不燃物	35	42	34	29	25	12	13	13	11	11	11	10	10	9
[86]	金属類	363	315	282	264	241	225	181	186	180	174	169	163	155	149
[87]	計	540	539	423	378	347	272	224	229	218	208	202	194	185	178

表4-31 最終処分量

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
[88]	埋立ごみ	547	289	318	318	334	312	286	270	254	83	—	—	—	—
[89]	焼却残渣	1,420	1,151	980	1,685	1,322	1,325	102	12	186	11	—	—	—	—
[90]	破砕・選別設備 からの不燃物	84	77	108	111	115	70	80	78	80	64	63	63	62	61
[91]	資源処理設備 からの不燃物	35	42	34	29	25	12	13	13	11	11	11	10	10	9
[92]	計	2,086	1,559	1,440	2,143	1,796	1,719	481	373	531	169	74	73	72	70
[93]	最終処分率 (%)	6.8	5.0	4.7	7.1	6.1	6.3	2.0	1.6	2.2	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3

(単位：t/年)

H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
9,245	8,969	8,733	8,501	8,271	8,042	7,817	7,595	7,375	7,167	6,964	6,762	= [7]
9,224	9,180	9,158	9,132	9,110	9,089	9,067	9,048	9,023	9,005	8,983	8,964	= [63]
159	157	154	152	149	147	144	141	138	136	134	131	= [76]
19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	13	12	= [84]
18,647	18,324	18,062	17,802	17,546	17,293	17,043	16,798	16,550	16,321	16,094	15,869	= Σ ([66]～[69])
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,892	1,860	1,833	1,807	1,781	1,756	1,730	1,705	1,680	1,656	1,633	1,611	= 処理量×0.05% [H25]+処理量×10.1% [H25]

(単位：t/年)

H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
325	323	322	319	316	315	312	308	305	302	299	296	= [31]
149	143	137	132	127	122	117	112	107	104	100	95	= [19]
474	466	459	451	443	437	429	420	412	406	399	391	= Σ ([73]～[74])
159	157	154	152	149	147	144	141	138	136	134	131	= 処理量×33.6% [H25]
60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	= 処理量×12.6% [H25]
88	87	85	84	82	81	80	78	77	76	74	73	= 処理量×18.6% [H25]
307	303	297	293	287	283	278	272	267	263	258	253	= Σ ([76]～[78])
84	83	82	80	79	78	76	75	73	72	71	70	= 処理量×17.8% [H25]
84	83	82	80	79	78	76	75	73	72	71	70	—
391	386	379	373	366	361	354	347	340	335	329	323	= [80]+[81]

(単位：t/年)

H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
176	168	161	155	148	143	136	132	127	122	117	112	= [17]
19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	13	12	= 処理量×10.7% [H25]
9	9	8	8	8	7	7	7	6	6	6	6	= 処理量×5.1% [H25]
143	137	131	126	120	116	111	107	103	99	95	91	= 処理量×81.3% [H25]
171	164	156	151	144	138	133	128	123	118	114	109	= Σ ([84]～[86])

(単位：t/年)

H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	= [9]
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	= [71]
60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	= [77]
9	9	8	8	8	7	7	7	6	6	6	6	= [85]
69	68	66	65	64	62	61	60	58	57	56	55	= Σ ([88]～[91])
0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	= [92]/[64]

表 4-32 資源化量

(単位：t/年)

年度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
[94]	古紙	1,869	1,417	1,386	1,323	1,207	1,746	1,748	1,821	1,742	1,811	1,810	1,819	1,815	1,810	1,804
[95]	古布	17	17	18	25	25	23	24	25	21	18	18	18	18	17	17
[96]	金属類 (直接資源化量)	123	135	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
[97]	ビン	1,068	954	1,050	1,049	999	883	881	819	833	845	834	822	805	788	772
[98]	乾電池	14	13	16	16	20	15	15	15	13	14	14	14	14	14	13
[99]	蛍光管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	7	6
[100]	ガラス・セトモノ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	147	241	249	256	260	262
[101]	PETボトル	30	36	41	47	45	53	65	59	51	44	44	46	48	50	51
[102]	トレー	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
[103]	発泡スチロール	6	4	4	4	3	4	3	1	4	2	3	3	3	3	3
[104]	初島区堆肥化量	48	48	49	53	51	43	47	44	44	41	41	40	40	39	38
[105]	古紙	928	877	843	738	666	623	626	542	554	570	571	573	571	570	569
[106]	古布	6	4	3	2	3	3	5	2	1	1	1	1	1	1	1
[107]	金属類	36	36	39	39	41	32	34	31	30	29	28	26	26	24	24
[108]	ビン	10	8	6	6	6	4	4	3	2	1	1	1	1	1	1
[109]	その他	19	16	18	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[110]	破碎・選別設備(金属類)	256	243	239	227	226	149	139	132	127	94	93	93	91	90	88
[111]	資源処理設備(金属類)	363	315	282	264	241	225	181	186	180	174	169	163	155	149	143
[112]	小型家電製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	89	89	87	86	84
[113]	焼却灰(資源化)	1,543	1,535	1,665	1,410	1,448	1,365	2,342	2,216	1,982	2,025	2,023	1,995	1,960	1,926	1,892
[114]	計	6,337	5,659	5,775	5,221	4,982	5,169	6,116	5,898	5,586	5,915	5,989	5,961	5,900	5,837	5,770
[115]	再生利用率 (%)	20.6	18.3	18.9	17.4	17.0	18.8	25.0	24.6	23.3	24.5	24.9	25.1	25.2	25.3	25.4

(単位：t/年)

年度		H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	備考
[94]	古紙	1,798	1,790	1,778	1,768	1,757	1,744	1,730	1,717	1,704	1,690	1,676	= [13]
[95]	古布	17	16	17	17	17	16	16	16	15	15	15	= [15]
[96]	金属類 (直接資源化量)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
[97]	ビン	754	737	720	705	688	673	656	641	625	611	597	= [21]
[98]	乾電池	13	13	13	13	12	12	12	12	11	11	11	= [23]
[99]	蛍光管	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	= [25]
[100]	ガラス・セトモノ類	266	268	271	271	272	272	272	269	269	267	266	= [27]
[101]	PETボトル	53	54	56	56	57	58	59	60	61	62	63	= [37]
[102]	トレー	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	= [39]
[103]	発泡スチロール	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	= [41]
[104]	初島区堆肥化量	36	35	35	34	33	33	32	30	30	29	28	= [45]
[105]	古紙	566	562	560	557	553	550	545	540	536	533	527	= [49]
[106]	古布	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	= [51]
[107]	金属類	23	22	21	21	19	19	18	17	16	16	16	= [53]
[108]	ビン	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	= [55]
[109]	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	= [57]
[110]	破碎・選別設備(金属類)	87	85	84	82	81	80	78	77	76	74	73	= [78]
[111]	資源処理設備(金属類)	137	131	126	120	116	111	107	103	99	95	91	= [86]
[112]	小型家電製品	83	82	80	79	78	76	75	73	72	71	70	= [80]
[113]	焼却灰(資源化)	1,860	1,833	1,807	1,781	1,756	1,730	1,705	1,680	1,656	1,633	1,611	= [72]
[114]	計	5,706	5,641	5,581	5,517	5,452	5,387	5,318	5,246	5,181	5,118	5,054	= Σ ([94]~[113])
[115]	再生利用率 (%)	25.6	25.6	25.7	25.7	25.8	25.9	25.9	25.9	25.9	26.0	26.0	= [114]/[64]

第 5 節 用語解説

[あ 行]

○一般廃棄物

産業廃棄物以外の廃棄物で、ごみ、し尿、浄化槽汚泥などのこと。一般家庭の日常生活から生じる家庭系一般廃棄物と、事業活動に伴って生じる事業系一般廃棄物に区分されます。

○一般廃棄物処理実施計画

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により市町村に策定が義務付けられている「一般廃棄物処理計画」のうち、一般廃棄物の処理に関する事業計画を単年度ごとに定めた計画のこと。

[か 行]

○許可業者

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、市長の許可を受けて一般廃棄物の収集運搬を業として行う者のことです。

○グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、再生製品（再生紙等）など環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。

[さ 行]

○災害廃棄物

地震や津波、洪水などの災害に伴って発生する廃棄物のこと。倒壊・破損した建物などがれき、木くず、コンクリート魂、金属くずなどのことをいいます。

○最終処分

中間処理後の残渣が、周辺環境に影響を及ぼさないよう、最終処分場に埋立処分を行うこと。

○産業廃棄物

事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で規定された 20 種類の廃棄物のこと。産業廃棄物以外の廃棄物が一般廃棄物となります。

○循環型社会

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わるものとして提示された概念のこと。循環型社会形成推進基本法では、第一に製品などが廃棄物等となることを抑制し、第二に排出された廃棄物等についてはできるだけ資源として適正に利用し、最後にどうしても利用できないものは適正に処分することが徹底されることにより実現される「天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会」としています。

[た 行]

○第三次循環型社会形成推進基本計画

循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の形成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために国が定めた計画のこと。平成25年5月31日に閣議決定され、最終処分量の削減など、これまで進展した廃棄物の量に着目した施策に加え、循環の質にも着目し、リサイクルに比べ取組が遅れているリデュース・リユースの取組強化、有用金属の回収、安心・安全の取組強化、3R国際協力の推進等を新たな政策の柱としています。

○中間処理

収集したごみが最終処分に至るまでの間に行われる処理のこと。破碎、圧縮や焼却処理をいう。

○特別管理一般廃棄物

一般廃棄物のうち、爆発性、毒性、感染性その他、人の健康または生活環境に係わる被害を生じるおそれのある性状を有するものとして法に定められている廃棄物のこと。ばいじん（集じん灰）、感染性一般廃棄物、PCBを含む部品が対象となります。

[ら 行]

○リサイクル(再生利用)

廃棄物を再利用することをいいます。原材料として再利用するマテリアルリサイクル*、焼却して熱エネルギーを回収するサーマルリサイクルがあります。

*マテリアルリサイクル：廃棄物を原料として再利用すること。具体的には、使用済み製品や生産工程から出る廃棄物などを回収し、利用しやすいように処理して、新しい製品の材料もしくは原料として使うことを指します。

○リデュース(発生抑制)

廃棄物の発生自体を抑制することをいいます。リユース、リサイクルよりも優先されています。リデュースのためには、事業者には原材料の効率的利用、使い捨て製品の製造・販売などの自粛、製品の長寿命化など製品の設計から販売に至るまで全ての段階での取り組みが求められます。また、消費者には、使い捨て製品や不要物を購入しない、過剰包装の拒否、良い品を長く使う、食べ残しを出さないなどライフスタイル全般にわたる取り組みが求められます。

○リユース(再使用)

いったん使用された製品や部品、容器等を再使用することをいいます。具体的には、①あるユーザーから回収された使用済み機器等をそのまま、もしくは修理などを施した上で再び別のユーザーが利用する「製品リユース」、②製品を提供するための容器等を繰り返し使用する「リターナブル」、③ユーザーから回収された機器などから再使用可能な部品を選別し、そのまま、もしくは修理等を施した上で再度使用する「部品リユース」などがあります。

[数 字]

○3R

リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) の頭文字を示しており、循環型社会を形成していくための基本的な3つの取組みのこと。リデュース、リユース、リサイクルの順番で取り組むことが求められています。

一般廃棄物処理基本計画

発行 熱海市 市民生活部 協働環境課（環境センター）
住所 〒413-0033 静岡県熱海市熱海字笹尻 1804 番地の8
TEL 0557-82-1153
FAX 0557-82-5371
発行日 平成27年3月
編集 中日本建設コンサルタント株式会社